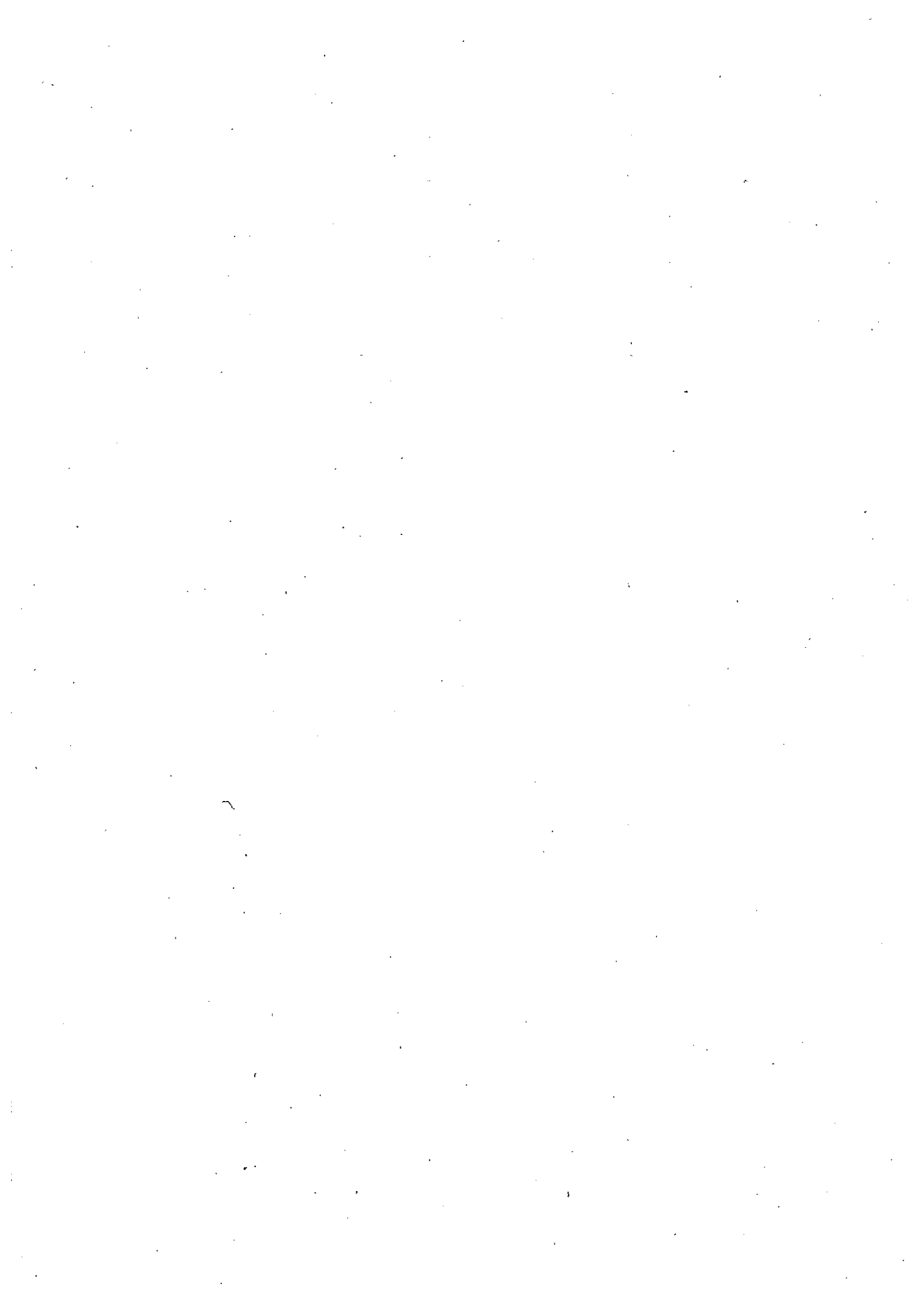


公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団の経営状況について

公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団の経営状況について、地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、別紙のとおり報告する。

令和 5 年 6 月 6 日

提出者 国立市長 永見理夫



## 公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団の経営状況

1. 2022年度 事業報告書
2. 2022年度 決算書
3. 2023年度 事業計画書
4. 2023年度 収支予算書



## 財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団設立趣意書

国立市は基本構想で、その都市像を「文教都市くにたち」と定め、「国立にふさわしい文化の創造」をまちづくりの目標にかかげているが、これは国立市民の誇りとなり、これによって一層、このまちに愛着を深めることができるような、地域特性を生かした新しい文化資産を創造することを意味している。そのためには、市民が主体となって、芸術文化やスポーツの諸活動を推進することのできる環境の醸成と、ふれあいの場づくりが何よりも求められているといえよう。

国立市が昭和57年、旧庁舎跡地に「くにたち市民総合体育館」を建設し、続いて昭和61年、「くにたち市民芸術小ホール」の建設に着手、昭和62年11月3日の完成に向けて、文化とスポーツの総合センターの開設準備を進めていることは、まさにこの目標の具体化にほかならない。とくにこれらの施設が、計画の段階から市議会及び市民の積極的な参加を得て、「市民が主体となって日常的に自ら使いこなすことのできる施設として、市民の芸術・文化・スポーツの拠点としたい。」との考え方が強く打ち出されたことは、施設の運営についても市民参加の基本方針が明快に示されたものといえることができる。

さいわい国立市は、芸術家、文化人、スポーツの専門家など豊富な人材に恵まれている。これらの専門家をはじめ、多くの市民の知恵と力を結集して、市民の芸術・文化・スポーツを振興するための新しい組織をつくることが急務となっている。この組織は行政からの出資を根幹とした安定的な財政基盤を保ちながら、民間の自由な経営手法を取り入れ、弾力的な運営を行うものでなければならない。

したがって、市民に対しては、優れた芸術鑑賞の機会をより多く提供できるように、また、市民自らが行う文化及びスポーツの諸活動の育成と豊かな発展を積極的に援助し、あわせて施設のより効率的な運営と市民サービスの向上を図るために、「財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団」を設立するものである。



2022年度

# 事業報告書

公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団

## 目 次

事業の概要	( 1 )
Ⅰ. 公益事業	( 1 )
1. 市民の芸術文化振興の企画と実施事業(くにたち市民芸術小ホール) …	( 1 )
2. 郷土に関する文化の伝承と振興事業(くにたち郷土文化館) ……	( 3 )
3. 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業 (くにたち市民総合体育館) ……	( 4 )
4. 共通公益事業(総務課) ……	( 5 )
Ⅱ. 収益事業等	( 6 )
1. 付帯サービス事業 ……	( 6 )
2. その他の事業 ……	( 6 )
Ⅲ. 管理(法人管理事業)	( 7 )
1. 役員及び役員会等に関する事業 ……	( 7 )
事業の内訳	( 8 )
1. 自主・共催事業	( 8 )
(1) 市民の芸術文化振興の企画と実施事業	( 8 )
(2) 郷土に関する文化の伝承と振興事業	( 12 )
(3) 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業	( 16 )
(4) 市民の自主的な文化・スポーツ活動の奨励及び団体の育成事業	( 20 )
(5) 財団広報誌「オアシス」の発行等	( 20 )
(6) 総合評価	( 22 )
2. 指定管理事業	( 24 )
(1) 市民芸術小ホールの利用状況	( 24 )
(2) 国立市古民家を含む郷土文化館の利用状況	( 26 )
(3) 市民総合体育館の利用状況	( 28 )
(4) 有料公園施設等の利用状況	( 30 )
3. 管 理	( 32 )
(1) 役員及び役員会等に関する事業	( 32 )



## 事業の概要

公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団は、定款に掲げた文化・スポーツ事業等を企画実施し、市民芸術小ホールなど3施設を中心とする管理・運営、諸活動を基本としながら、広く芸術・スポーツによるまちづくりを行っています。

その際、次の3点を重要課題として位置付けました。

- 芸術小ホールの事業では、乳幼児と保護者、高齢者や様々な事情を抱えた人々との接点をできる限り創出するため、「参加型」事業を意識的に実施します。具体的には鑑賞・講座・ワークショップ・アウトリーチなど、参加方法の多様化と機会をできる限り増やすことを心掛けます。そのために地域の学校、芸術団体、アーティストらとの協力関係を構築していきます。そうした実績を積み上げつつ、市民参画であるからこそ成立する舞台作品を市民が主体となつてつくるなど、芸術の真髄である「創作」にも市民の力と存在を活かします。

コロナ禍を克服し徐々に次なる時代へと移行する中、出演者はじめ外部芸術関係者を支える視点からも共催形式や助成金等を活用しつつ積極的に事業展開する姿勢を貫きます。さらに市民の自立した活動である貸館事業が十分に共存できるよう自主事業との施設利用日のバランスを常に考慮し、また自主事業参加者が貸館で活動を継続する機運づくりに努力します。

- 谷保天満宮、旧本田家住宅、旧国立駅舎、古民家などに代表される市内に現存する有形・無形の歴史的文化的遺産は、市民が国立市に強い誇りと愛情を感じる気持ちを育む重要な要素の1つです。これらの歴史的文化的遺産の適切な保護と活用は郷土文化館を中心に行い、将来にわたって市民共有の財産として守っていきます。

また、地域に貢献する郷土文化館を目指すため、専門職員としての学芸員の専門性を活かし、くにたちの歴史、文化、環境等を啓蒙、啓発するための企画展示、資料収集、講座事業等を行います。また、参加型の事業を充実させ、利用者の調査、研究等に対応できるよう生涯学習活動の支援を行います。

このような視点を持ちながら、2022年度は以下のような事業を展開しましたが、コロナ感染拡大防止のため参加者の縮小や参加者は募集せず指導者の技術確認の形で実施しました。

- 市民総合体育館では、SDGsの目標3「すべての人に健康と福祉を」の目標の達成のため、誰もがスポーツの楽しさや喜びを味わい、さらに人々と共有することで、健康的な生活が送れるよう、1. 小中学生のスポーツの体験事業の充実、2. 健康づくりのスポーツ事業の充実、3. 高齢者を対象とした事業の充実、4. しょうがいしゃスポーツの推進、5. 関係機関との連携の5つの運営概略を示し事業を展開していきます。このような視点を持ちながら、2022年度は以下のような事業を展開しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、自主事業及び貸館事業が多大な影響を受けました。

## 1. 公益事業

### 1. 市民の芸術文化振興の企画と実施事業(定款第4条第1号)(くにたち市民芸術小ホール)

○館内利用者数 48,823人(目標数68,000人)

#### ア. 芸術文化事業

芸術小ホールでは、芸術環境創造事業7事業、芸術振興事業16事業、その他7事業の、計30

事業を実施しました。依然コロナ禍にあり実施中止とした事業があった反面、計画外実施した事業もありました。主催共催別では主催17事業、共催13事業を実施しました。

#### (ア) 芸術環境創造事業

教育や福祉の見地を含め、地域の芸術的人材・団体の協力を得て事業を行いました。

##### ① 教育、福祉、まちづくり連携による地域貢献事業

多摩地域の文化拠点をつないでいる芸術団体・たちかわ創造舎による全世代向け演劇公演は8年目となりました。コロナ禍を経て、客席設定や公演後の俳優との交流方法などに変更を余儀なくされましたが、年2回公演のうち1月公演ではコロナ対応交付金によりチケット代金を無料とし、全世代で楽しめる事業として継続定着させることができました。

##### ② 学校教育との連携事業

国立音楽大学協力事業の「くにたちデビューコンサート」は、同学在学生、卒業生の希望を取り入れながら興行として成立しにくい企画に挑戦し、公共ホールの存在意義を活かした公演となりました。同事業についてもコロナ対応交付金を活用しました。

また3年目となる(一財)地域創造の音楽活性化支援事業ではギタリストによるコンサートと市内小学校および城山さとのいえで計5回のアクティビティを実施し、子どもたちや地域の人々とクラシック音楽の接点を創出しました。

##### ③ 地域の芸術文化資源を活用したまなび事業

市内および近隣在住の講師による市民一芸塾では「ガムラン講座」、「ベリーダンス講座」を開催し、講師・参加者双方が学びあい交流する場をつくりました。それぞれ無料のイブニングコンサート時に発表を行いました。

#### (イ) 芸術振興事業

国立市文化芸術条例を踏まえ、誰もが文化芸術に親しみより深くかかわりを持つ機会を提供するとともに、鑑賞と交流の拡充を図る事業を行いました。

##### ① 芸術文化の創造事業

芸術の真髄である「創造」を行える施設をめざし、出演アーティストやクリエイターと協働しながら事業を展開しました。国立市出身の世界的著名作家書下ろし台本で市民参加により世界初演を行った創作オペラ、民謡歌手を迎えた鼓童公演、若手演奏家育成を図るinc.プロジェクト等を実施しました。また芸小創作舞台作品が文化庁事業に採択され、いわば外部販売という新たな境地を拓くことができました。

##### ② 芸術文化の継承事業

「フレッシュ名曲コンサート(室内楽)」は東京都歴史文化財団(東京文化会館)との共催で、東京音楽コンクール、日本音楽コンクール第1位受賞のクラリネット奏者と弦楽奏者による五重奏リサイタルが好評を得ました。また11回目となった「こども寄席」は毎年好評の小学生コースのほか要望を受け中高生コースを新設しました。くにたち市民オーケストラ「ニューイヤーコンサート」は地域の人々からの安定した人気を得て実施されました。

##### ③ 芸術文化の交流・支援事業

定番「スタジオコンサート」は著名な演奏家が出演する回が増え、チケット代も増額しましたがいずれも完売となりました。「すたじお寄席」は、レギュラーメンバーの昇進を見守る楽しみを兼ね備えた、地域に根付いた落語会となっています。

##### ④ 創客、利用拡大事業

「ランチタイムコンサート&ステージ」、「イブニングコンサート」は整理券制で客席数を制限しつつ開催し、出演者への演奏機会の提供と市民が様々な音楽・ステージを気軽に楽しめる機会を提供しました。

「ホールとグランドピアノのシェアプログラム」は毎回受付開始日からまもなく予約が

埋まる人気事業となりましたが、ピアノの老朽化を鑑み実施頻度を下げました。

(ウ) その他

① 自主事業、連携事業企画調査事業

広報の効果を上げ活性化を行うため SNS (ツイッター)、メールマガジン等の活用を図りました。また動画投稿サイトを活用し、事業プロモーションに努めました。

② 実行委員会参画事業

定番の「くにたち音楽祭」、「吹奏楽フェスティバル」、「ファミリーフェスティバル」、「わくわく子どもフェスタ」はコロナ対策について各実行委員会が実施方法等について真摯な検討を行い、自主的な活動としての本分が果たされました。

イ. 指定管理事業 (定款第4条第6号)

2022年度の市民芸術小ホールの施設利用件数及び利用料収入総額については、前年度と比べて利用件数で15.0%増の1,504件、利用料収入額は10.9%増の17,583,350円となりました。利用件数増の主な原因は、コロナ禍が緩やかに収まる中徐々に活動が復活してきたことが考えられます。

竣工後35年を経て施設の老朽化に伴う修繕費は2022年度も増加傾向にありました。安全な施設運営のため入れ替えが必須となる設備・機材が複数あり、喫緊の対応が求められています。

2. 郷土に関する文化の伝承と振興事業 (定款第4条第2号) (くにたち郷土文化館)

○館内利用者数 21,602人 (目標数25,000人)

郷土文化館では、自主事業36、共催事業3の合計39事業を実施しました。

事業内容は、常設展示事業3、企画展示事業3、資料収集・調査・研究事業7、講座事業11、市民が参加及び体験する事業として、郷土の伝統文化を学ぶ体験事業12、郷土の自然環境を学ぶ体験する事業3となっています。

ア. 郷土文化館事業

(ア) 郷土の歴史、民俗及び自然環境等に関する資料の収集、保存、調査研究、教育支援のための事業

① 展示事業

紙を素材にして様々な創作品を紹介し、市内で活動するサークルと共催で、会期中に紙の特性や魅力を学びながら、子どもから大人まで楽しめる体験事業を実施した企画展「第24回紙の工芸展」、高度成長期、町の暮らしが大きく変化していく中で行われた、民具収集と聞き取り調査。市民の力で行われたそれらの業績を明らかにすると共に、採集された民具と聞き取りから分かる、かつての谷保の人々の暮らしぶりを振り返る企画展「歩いて集めて見て聞いて」、公私立小学校の3年生を対象とした民具案内と連動した企画展「むかしの暮らし展」の計3回の展示事業を実施してコロナ禍にもかかわらず延べ約9,000人を超える観覧者がありました。

② 講座事業

コロナ感染防止のため、旧本田家、古文書関連、自然講座「くにたちの地形と野みずの発生」等講座事業につきましては、参加者を縮小して実施しました。秋季企画展「歩いて集めて見て聞いて」に関連しミュージアムトーク、まち歩きイベントを実施しました。

## (イ) 市民が参加及び体験する事業

### ① 郷土の伝統文化を学ぶ体験事業

伝統行事など、市民が主体になり楽しむ事業を展開しました。市内の公私立小学校の3年生を対象にした恒例の民具案内は、2022年度も公立小学校8校、私立小学校3校の合計11校行い、716人の児童生徒を迎えることができ、冬季企画展「むかしの暮らし展」の見学と合わせ、郷土の歴史と民俗を体験的に知る機会としました。また、コロナ禍ということもあり、わらぞうり作りについては、市民参加を見合わせ、伝承者の技術を確認しました。十五夜だんご作り、ひし餅作りについては、参加者を縮小して実施しました。

### ② 郷土の自然環境を学び体験する事業

市内NPOの協力をいただき、主に小学生を対象に、体験や観察を主体とした「くにたち自然クラブ」事業等を実施しました。

## イ. 指定管理事業（定款第4条第6号）

2022年度の郷土文化館の入館者数は21,602人で2021年度と比較して4,382人、25.4%の増となりました。また、2022年度の古民家の見学者数は10,026人で2021年度と比較して1,036人、9.4%の減となりました。郷土文化館の増は、全国にコレクターのいるマンホールカードの配布が2023年1月から開始されたことが大きく寄与しています。古民家の減は、2022年度最後に来て桜ウォーキングのような集客力のあるイベントが悪天候のため中止等になったことで集客数が伸び悩んだものと思われれます。

郷土文化館・古民家の施設・設備等の利用料収入は、2022年度は1,160,300円で2021年度と比べ111,100円、10.6%の増となっております。なお、市主催事業の減免措置については、21.1%の減となっております。事業収入等の状況は、2022年度は685,330円で、2021年度と比べ86,110円、11.2%の減となっております。

## ウ. 市内遺跡整理調査業務受託事業（定款第4条第5号）

市内遺跡整理調査業務受託事業として、国立市から2021年度に実施された市内遺跡緊急調査の整理及び報告書の作成業務及び2022年度中に実施される緊急発掘調査に必要な知見を得るための発掘調査補助を受託し、実施しました。

## 3. 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業（定款第4条第3号）

### （くにたち市民総合体育館）

○館内利用者数 141,645人（目標数210,000人）

## ア. スポーツ及びレクリエーション事業（定款第4条第3号）

総合体育館では、自主事業が19事業59回、共催事業が5事業6回、他組織への協力事業が1事業1回で合計25事業66回を企画しました。しかし、新型コロナウイルス等の影響で自主事業が4事業4回、共催事業が1事業1回、協力事業が1事業1回、合計で6事業6回を中止にしました。

2022年度も新型コロナウイルスの影響を大きく受けることになりました。

このような中、自主事業の小学生夏休み水泳教室は、以前は小学校の屋外プールで夏休みに実施していましたが、雨や酷暑で中止になることが多かったことから、現在は財団主催で会場を総合体育館に変え水泳教室を実施しております。毎年定員を超える申込があり、大変好評でした。

共催事業では、くにたちファミリーフェスティバルは総合体育館体育室が新型コロナワ

クチン接種会場となったため中止になりました。

小学生初心者水泳教室では、泳げない小学生を対象に、泳げるようになることを目的に実施しておりますが、毎年定員を超える申込があり、今年も大変好評でした。

くにたちウォーキングは、2022年度は10月10日の体育の日に開催し、ウォーキングを楽しみながら健康増進と体力向上に寄与しました。

スポーツ講演会は、2023年1月14日に4年ぶりに開催しました。メンタルトレーナーの高畑好秀氏をお迎えし、試合や受験に120%発揮する方法や子供の隠れた可能性の引き出し方・伸ばし方などスポーツと教育の両面から実践的にお話をいただき大変好評でした。

#### イ. 指定管理事業(定款第4条第6号)

総合体育館利用者数(南市民プラザトレーニング室を含む)は個人が83,812人(15,064人、21.9%の増)、団体が56,484人(12,838人、29.4%の増)でした。

2022年度も新型コロナウイルス対策を行いながら運営を行いました。4月1日から4月26日まで及び7月11日から8月31日までは第一体育室、9月1日から10月31日までは第一・第二会議室、企画資料室、ベビールーム、11月1日から12月31日までは第二体育室全面、1月1日から3月31日までは第二体育室半面が新型コロナワクチン接種会場となったため、それぞれ利用を中止しました。2022年度も新型コロナウイルスの影響を受けることになりました。

また、新型コロナワクチン接種会場となっていた期間の体育室が利用できない期間は、国立市民のスポーツ・レクリエーション活動の代替場所として、また、利用者の健康増進・体力向上のため、NHK学園の体育館を2022年度は30団体がお借りしました。

総合体育館の個人及び団体利用の利用料収入は31,248,035円で、2021年度と比べて1,406,564円、4.7%の増収でした。2022年度は緊急事態宣言がなく、利用者数及び利用料収入が増加したものです。(2021年度緊急事態宣言に伴う体育館休館、4月27日～5月31日)

有料公園施設等の利用状況は、3箇所あるテニスコートは、27,051時間、利用率は70.77%、3箇所の野球場は、7,031時間、利用率は54.0%、サッカー場は、1,730時間、利用率は、47.5%でした。利用料収入は、テニス、野球、サッカーの合計で、18,781,950円で、2021年度と比較して2,294,875円、10.9%の減収でした。減収の理由は、利用者数の減少によるものです。

#### ウ. 学校開放受付業務受託事業(定款第4条第5号)

国立市立小・中学校(11校)の体育館と校庭の施設開放事業を国立市から受託して行いました。

#### エ. 特定保健指導における運動継続支援業務受託事業(定款第4条第5号)

国民健康保険が実施する特定保健指導における運動継続支援業務を国立市から受託し、40歳から65歳の市民を対象として健康増進に寄与しました。利用者数は延434人となり、2021年度と比べて108人、33.1%の増になりました。

### 4. 共通公益事業(総務課)

#### ア. 市民の自主的な文化・スポーツ活動の奨励及び団体の育成事業(定款第4条第4号)

市民団体等からの申請にもとづき、助成選考委員会にて厳正な審査を行った結果、市民団体が実施している事業で、広く市民に公開している「塞ノ神どんど焼き」など7事業に助成しました。

・助成団体 7団体 ・助成金額 1,150,000円

#### イ. 財団広報紙「オアシス」の発行等事業（定款第4条第7号）

各館の事業を中心に、年6回隔月に財団広報紙「オアシス」を発行し、市内全世帯に配付するとともに、広く財団の事業内容などをお知らせするため、ホームページに掲載しました。

#### ウ. 指定管理事業（定款第4条第6号）

総務課は各館の指定管理事業に関わる予算編成、予算執行管理等を適正に行いました。

### II. 収益事業等

#### 1. 付帯サービス事業（定款第4条第2項）

##### ア. チケット販売事業

市民芸術小ホールを借りて利用する団体等から受託し受託販売手数料を得て、音楽・演劇等のチケットを販売する事業ですが、2022年度は受託5件でした。

・2022年度の受託団体数 5団体（5件） 受託販売手数料 18,180円

##### イ. 飲料水等販売事業

①市民芸術小ホール来館者への付帯サービスとして、飲料水等自動販売機を設置し、販売しました。

・2022年度の販売額 298,477円 販売数7,425本

②郷土文化館来館者への付帯サービスとして、飲料水等自動販売機を設置し、販売しました。

・2022年度の販売額 68,868円 ・販売数 1,567本

##### ウ. グッズ等販売事業

郷土文化館来館者への付帯サービスとして、特別展等で販売した記念グッズ（手ぬぐい、バッジ等）を中心に関連商品を販売しました。

・2022年度の販売額 434,200円 ・2022年度末棚卸額 1,043,344円

##### エ. 体育用品の販売事業

総合体育館の施設利用者への付帯サービスとして、ピンポン球、バドミントンシャトル、水泳帽、ゴーグルのスポーツ用品を販売しました。

・2022年度の販売額 263,500円 ・2022年度末棚卸額 105,216円

#### 2. その他の事業

##### ア. 公益事業外の施設貸与事業

市民芸術小ホール施設及び市民総合体育館の施設利用について、国立市との協定に基づき、その他の施設貸与事業として学校等の卒業式等およびくにはたちの集い（旧成人式）等への貸付を行いました。

### Ⅲ. 管理（法人管理事業）

#### 1. 役員及び役員会等に関する事業（定款第4条第7号）

理事会、監査、評議員会を、定款に基づき開催しました。

- ・理事会 3回
- ・評議員会 3回
- ・中間監査 1回、決算監査 1回

以上が、2022年度公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団の事業の概要です。今後の財団運営に当たっては、市民参加の事業展開を図り、効率的な経営を目指して、一層の努力をしてまいります。

## 事業の内訳

### 1. 自主・共催事業

(1) 市民の芸術文化振興の企画と実施事業（定款第4条第1号）

〔市民芸術小ホール〕（決算額 45,695,148 円）

#### (ア) 芸術環境創造事業

##### ①教育、福祉、まちづくり連携による地域貢献事業

計画事業 通し番号	事業名	開催形態	実施日・期間
○ 1	芸術文化で地域と福祉をつなぐライブステージ事業 にじゅうまるシアター ①「泣いた赤鬼」1公演 ②「長靴をはいたネコ」2公演	自主	①6月26日 ②1月29日
● 2	旧駅舎コンサート&パフォーマンス	自主	中止
○ 3	放課後ダイバーシティダンス	自主	通年
4	くにたちアートプロジェクト事業		通年
5	(計画外実施) ①誰もが楽しめるジャズコンサート ②誰もが楽しめるクリスマスコンサート		①12月1日 ②12月16日

##### ②学校教育との連携事業

6	くにたちデビューコンサートvol.15 ①「ゲーテ『ヴィルヘルム・マイスター』の诗情」 ②「戦争と音楽編 戦火に散った歌曲たち」	自主	①1月21日 ②3月18日
● 7	公共ホール音楽活性化支援事業「松尾俊介クラシックギターコンサート」(コンサート1回、アウトリーチ4回)		公演7月9日 (アウトリーチ7月1~3日)

##### ③地域の芸術文化資源を活用したまなび事業

8	市民一芸塾①「夏休みバリ・ガムラン講座」 ②「踊って楽しいベリーダンス講座」	自主	①8/16-20 ②11/21・28・ 12/5・12・19
● 9	くにたちピエンナーレ2015受賞作家個展 長野真紀子個展	自主	中止

#### (イ) 芸術振興事業

##### ①芸術文化の創造事業

● 10	①スティーブ・ライヒプロジェクト レクチャー・ ショーイング・ワークショップ ②inc. percussion days 2023 KUNITACHI	自主	①11/19-20 ②2/10-12
○ 11	伊藤多喜雄×鼓童(2回公演)		10月15日
● 12	芸小ステージクリエイションⅣ 朗読とおはなし『エンデの遺言』を読む	自主	11月12日
13	多和田葉子 複数の私vol.05+ステージクリエイションシリーズⅢ ①くにたちオペラ『あの町は今日もお祭り』②上映会	自主	①4/30, 5/2・3 ②11/14・15
● 14	①文化庁巡回公演事業「小さな劇場 太陽のタネ」 ②再演+ワークショップ		①8/31, 9/1, 12/12・ 16・19・21 ②8月29日
15	芸小シネマ ※実施せず	主催	—



告 事業内容及び説明	入場料等 (円)	入場者数 人(定員)
舞台芸術に親しむ公演として、たちかわ創造舎を拠点とする劇団のファミリー向けレパートリーを上演しました。客席数は①50% ②最前列のみ未使用としました。また②は国立市を通じ「国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用しました。	①大人1,000 子ども500 ②0	①62 ②210
「まちの魅力発信拠点」である旧駅舎との連携でまちづくりへの参画を図るとともに芸小事業の事前PRに活用する予定でしたが、コロナ禍で必要となる客席数限定が同所の運営と相容れないため、中止としました。	0	—
2019～2021年度アーツカウンシル東京共催事業として実施した同事業を継続したいとしてその実施方法について検討しました。2023年度にワークショップ実施と、可能であれば舞台発表を目指すこととしました。	—	—
アーツカウンシル東京や国立市、一般社団法人ACKTと連携し、事業コーディネート体制づくり、拠点形成、リサーチ・発信事業を進めました。	—	—
ジャズライブ。だれもが気軽に音楽を楽しめる機会を創出することを目的に実施しました。国立市教育委員会共催。公演客席数は最前列のみ未使用。	500	①56 ②55

国立音楽大学協力で、次代を担う若手音楽家に発表とオリジナル企画実践の機会を与える育成支援事業を行いました。②は国立市を通じ「国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用しました。	1,000	①117 ②71
地域ホールの活性化と音楽分野における創造的な芸術環境づくりをめざし、音楽家による地域でのアウトリーチを5回（一小4年生2クラス、六小4年生2クラス。城山さとのいえ）、ホールでの演奏会を行いました。（一財）地域創造共催。	一般1,500 中学生以下500	アウトリーチ165 公演182

地域の専門家による、市民向けの造形や実演の文化芸術講座。今年度は夏休みにガムランを小学生向け、中高校生+大人向けに、また冬にはベリーダンスと国際色ある講座を実施しました。	2,000	①7 ②10
くにたちアートビエンナーレ2015野外彫刻展大賞受賞作家による個展を開催予定でしたが、コロナ禍の影響で作家の希望により延期としました。	0	—

世界的打楽器奏者・加藤訓子氏主宰の若手演奏家育成事業。演奏会（有料・無料）やワークショップなど複数のイベントを実施。②は国立市を通じ「国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用しました。	0	①138 ②628
毎年恒例となった和太鼓アンサンブルのリーディングカンパニー鼓童若手奏者による地域交流公演。今年は民謡歌手の伊藤多喜雄氏とのコラボ。令和4年度文化庁芸術祭参加作品。	一般5,000 小～高校生2,500	①181 ②154
アーティストとアイデアを出し合いながら、地域の文化施設がつくる舞台作品を育てるシリーズ。今回は昨今再度注目を集めている児童文学『モモ』作者のミヒャエル・エンデに関わる著作から台本を起し俳優によるリーディングを上演。ゲスト（建築家・映画評論家・ドラアグクイーン）を招いたクロストークも実施しました。	一般2,000 学生1,000	21
国立市出身の世界的小説家・多和田葉子書下ろし台本による新作オペラ3公演の世界初演。市民出演者・スタッフ45名を含む総勢80名余りが創作に関わりました。また公演記録映像を発表しました。	①一般4,000 学生2,000 ②500円	①619 ②71
文化庁事業である「巡回公演」に採択され、岐阜県、茨城県、神奈川県、静岡県、東京都離島の6校を訪問しワークショップと公演を実施しました。また出発前に芸小ホールで再演と影絵制作ワークショップを行いました。	—	528
2020年度制作の映画版「太陽のタネ」を現在複数の映画コンクールに出品しており、受賞決定の際に上映会実施を予定していましたが、現時点で入賞が決定していないため実施しませんでした。	—	—

(イ) 芸術振興事業  
②芸術文化の継承事業

計画事業 通し番号	報		
	事業名	開催形態	実施日・期間
16	フレッシュ名曲コンサート（室内楽） 「晩夏のクラリネット五重奏」	共催	9月11日
☆ 17	ホール寄席「桃月庵白酒・三遊亭兼好 二人会」	自主	12月10日
○ 18	【夏休み子ども向け企画】 こども寄席 初級者編	自主	7月25日
○ 19	【夏休み子ども向け企画】 こども寄席 上級者編	自主	7月26日
● 20	くにたち市民オーケストラ「2023年ニューイヤーコン サート」	共催	1月15日
21	（計画外実施） ササフェス！～作曲家ジョン・ササスの作品に贈る～	共催	10月9日

③芸術文化の交流・支援事業

● 22	スタジオコンサート(3回) vol.104「横内奏マリンバリサイタル」 /vol.105「Flamenco Jazz LIVE」/vol.106「北村聡 鈴 木大介 デュオコンサート 情熱のアルゼンチンタンゴ」	自主	6月11日 7月30日 10月28日
23	くにたちすたじお寄席 49-51回	自主	6月5日、9月4 日、3月5日

④創客、利用拡大事業

○ 24	ランチタイムコンサート・ランチタイムステージ（計10回）	自主	4/20, 5/18, 6/15, 7/20, 9/21, 10/ 19, 11/16, 1/18, 2/15, 3/15
○ 25	イブニング・コンサート（計2回）	自主	8月17日・12月21日
26	ホールとグランドピアノのシェアプログラム（計8 回）	自主	5/9・10, 6/6・ 7, 8/3・4, 9/28・29

(ウ) その他

①自主事業、連携事業企画調査

27	スタッフ・ディベロップメント事業	自主	通年
28	その他事業（オアシス、助成、消火栓広告、くにたちポイン ト）	自主	通年

①実行委員会参画事業

○ 29	第46回 くにたち音楽祭	共催	6月19日
○ 30	第28回 国立市吹奏楽フェスティバル	共催	9月25日
○ 31	国立三中08吹奏楽団 春風コンサート	共催	5月5日
○ 32	ギャラリーネットワーク連携事業 ※コロナ禍で中止	共催	（予定）6月
○ 33	第10回 わくわくこどもフェスタ	共催	2月19日

○ こどもおすすめ事業 ☆ 協賛事業 ● 新規事業

告 事業内容及び説明	入場料等 (円)	入場者数 (人)
東京音楽コンクール第1位、日本音楽コンクール第1位受賞者によるクラリネット奏者と、4人の弦楽奏者による五重奏。地域住民がクラシック音楽に親しむ機会づくりと、新進演奏家を支援することを目的として開催しました。	一般2,000 学生1,000	267
現在各地で人気が高い落語家二人会を実施しました。	一般3,000 高校生以下1,000	147
今年で11回目、すたじお寄席出身のらく次師匠による落語講座を開催しました。リピーターも含めた参加者は事前に配布したテキストから好きな噺を選び、一人ひとり稽古を付けた後で発表しました。	参加800 見学500	参加15 見学24
こども寄席既参加者の希望があった中高生コースを新設しました。高校落語部の生徒等が参加し、指導した落語家も刺激を受ける会となりました。	参加800 見学500	参加4 見学9
毎年恒例となつたくにたち市民オーケストラによる管弦楽の名曲コンサート。市内から多くの来場者が訪れる人気の演奏会となりました。	1,000	222
文化庁助成ARTS for the future!2に採択された演奏家による企画事業。おそらく日本初の、ニュージーランド出身の作曲家ササス氏オール・プログラム。ピアノ、クラリネット、チェロ、打楽器6名による演奏会を催しました。	小学生以上3,000 学生1,000 未就学児無料	62

音楽を身近に親しみやすく体験するコンサート。(104回) マリンバとピアノ (105回) フラメンコとジャズを融合、ジャズ界の第一線で活躍中の5人 (106回) ギター&バンドネオンによるタンゴの名曲 と多彩な音楽を気軽に聴ける機会の提供を行いました。	104 : 1,000 105, 106 : 2,000	52 50 55
真打ち昇進を目指す若手落語家の話芸を披露し、若手の成長を応援する定例落語会を引き続き開催しました。	1,500	38 55 55

入場無料、客席数制限(整理券発行)で公益事業として開催。公募で選ばれた出演者による実演(おもに音楽)を披露しました。	0	256
8月、12月に上記事業を夕方に移して開催しました。	0	97
ホール利用の予約が少ない平日に、ホールとコンサートグランドピアノの利用を1時間単位で分かち合う利用体験事業を、利用促進事業として実施しました。	2,000	71

職員が、接遇、企画力、コーディネート力の育成を図る目的で、講座・研修事業へ参加しました。	-	-
助成金交付事業、財団広報誌オアシス等の宣伝業務、芸術文化情報の発信事業を行いました。施設見学の受け入れ、中学生の職業体験の受け入れはコロナ禍により実施しませんでした。	-	-

参加団体で実行委員会を組織して運営し、市内で活動する様々な音楽団体による、合同発表公演を開催。一般観客無し、13団体が参加で前・後半に分けて実施しました。	0	-
参加団体で実行委員会を組織して運営し、主に中高の吹奏楽団体による合同発表公演。5団体が参加し、一般観客を入れての開催となりました。	0	542
ファミリーフェスティバルは中止となりましたが、国立三中OB吹奏楽団による毎年好評の吹奏楽コンサートのみ、鑑賞事前募集で開催しました。	0	246
市内で営業している画廊の連絡協議団体が、市民向け公益事業として美術講演会を開催する予定でしたが、コロナ禍により中止しました。	0	-
立川子ども劇場国立支部などが実行委員会を組織し子ども向けの様々な事業を行いました。	0	380

(2) 郷土に関する文化の伝承と振興事業 (定款第4条第2号)

〔郷土文化館〕 (決算額 26,277,376 円)

ア. 郷土の歴史、民俗及び自然環境等に関する資料の収集、保管、展示、普及のための事業

① 展示事業

・常設展示

実施事業 通し番号	事業名	自主・共催	実施日・期間
1	くにたち郷土文化館常設展示	自主	通年
○ 2	ハケと生きもの展示	自主	通年
3	施設及び周辺環境整備事業	自主	通年

・企画展示

● 4	共催企画展 「第24回 紙の工芸展」 関連イベント 12回	共催	5月21日～6月12日
● 5	秋季企画展 「歩いて集めて見て聞いて-消えゆく暮らしを記録せよ」	自主	10月8日～11月23日
○ 6	冬季企画展 「むかしの暮らし展」	自主	1月13日～3月13日

② 資料収集・調査・研究事業

7	資料活用及び保存に伴う調査・研究・修復事業	自主	通年
8	地域資料の整理	自主	通年
9	収蔵資料の整理	自主	通年
10	資料のデジタル化事業	自主	通年
11	図書等の資料整理	自主	通年
12	地域資料等の購入・収集及び調査・研究事業	自主	通年
13	調査・研究等の書籍刊行事業	自主	通年

③ 講座事業 (教育・普及事業)

● 14	自然講座「くにたちの地形と野みずの発生」	自主	9月17日・9月18日
● 15	連続自然講座関連ミニパネル展示 「国立市の地形と雨天時の出水」	自主	9月3日～10月23日
● 16	ガイドツアー	自主	6/26. 10/15. 10/17. 10/23. 10/31. 2/16. 3/28
● 17	矢川駅開業90周年記念パネル展示「谷保駅と矢川駅」	自主	5月6日～5月22日
18	学習支援事業	自主	7月25日～9月2日

告 事業内容及び説明	入場料等 (円)	入場者数 (人)
「多摩川が育んだ段丘（ハケ）とともに生きる私たち」をテーマとした常設展示を行いました。	—	延 21,602
研究者の協力を得て、ハケ下の水路や府中用水の生きものを展示しました。	—	—
来館者が地球温暖化や省エネについて考えるとともに、くつろげる空間づくりを施設整備（ハード）、職員の待遇（ソフト）の両面を行いました。	—	—

市内で活動するサークルと共催で、紙を素材にして様々な創作品を紹介し、子どもから大人まで楽しめる体験事業を行いました。	ワーク ショップ 100・300	1,152(うち157は有料)
市民の力で行われた民具収集と聞き取り調査等の業績を明らかにすると共に、採集された民具と聞き取りから分かる、谷保の暮らしぶりを紹介しました。	—	延 2,096
昔の暮らしの中で使われてきた館所蔵の民具を展示し、昔のくらしや道具についての知識を深める機会としました。	—	延 5,828

将来の企画展示に向けての準備として、国立市に関する資料の収集及び調査・研究及び資料の修復を行いました。	—	—
新たに寄贈された資料（美術品、写真、民俗資料等）の整理を行いました。	—	—
収蔵庫の民具資料を再調査し、収蔵庫の整理を行い目録化を図りました。	—	—
館収蔵の紙資料や市役所広報担当移管写真等のデジタル化、情報入力促進を図り、一部をホームページ等で紹介しました。	—	—
中央図書館との検索システムをネットワーク化するためのデータベース作業等を行いました。	—	—
地域資料の購入を含めた収集活動及び地域史に関する調査・研究を行いました。	—	—
企画展示の図録、研究紀要など、調査・研究の成果を刊行しました。	—	—

くにたちの自然環境を座学とフィールドワークから学ぶ講演会を開催しました。	—	26
国立市の地形や排水環境整備前の市内での出水発生、国立市周辺排水路の建設について当館所蔵の写真資料を中心としたパネル展示をしました。	—	2,438
来館者に向けて展示解説や散策ガイドを行いました。	—	161
JR東日本主催のイベント「駅からハイキング」にあわせ鉄道ファンの利用が見込まれ、当館を利用しない層へ向けて国立の歴史を紹介する機会としました。	—	1,371
学芸員実習など学校教育の支援を行いました。	—	5

実施事業 通し番号	事業名	報	
		自主・共催	実施日・期間
● 19	講演会 「村医者のノート術」 -幕末・明治の勉強法に学ぶ-	自 主	9月4日
● 20	講演会 「旧本田家住宅 その復元を探る」 -旧本田家住宅修理専門委員会の検討から-	自 主	11月12日
● 21	古文書に親しむ 古文書でみる府中用水Vol. 5 「多摩川の洪水とその後の対応」	自 主	2月11日
● 22	講演会 「本田家350年のお宝」 -資料基礎調査報告-	自 主	12月10日
● 23	講演会 「旧本田家住宅解体復元工事の現場から Vol. 2」	自 主	10月15日
● 24	冬季企画展関連音楽鑑賞事業 「蓄音機でレコードを聴いてみよう」	自 主	3月12日

#### イ. 市民が参加及び体験する事業

##### ①郷土の伝統文化を学ぶ体験事業

○ 25	国立市古民家の公開と展示事業	自 主	通 年
○ 26	小学生民具案内 (全11校)	自 主	1月13日～3月3日
○ 27	伝統行事 五月人形・鯉のぼり飾り	自 主	4月23日～5月8日
○ 28	伝統行事 七夕飾り	自 主	6月25日～7月7日
○ 29	わら細工教室 わらぞうり作り (協力 くにたちの暮らしを記録する会)	自 主	8月7日
○ 30	古民家事業 十五夜だんご作り (協力 くにたちの暮らしを記録する会)	自 主	9月4日
○ 31	伝統文化体験事業 千支の折り紙教室「卯」	自 主	12月3日
○ 32	わら細工教室 正月飾りの製作 しめ縄飾り (協力 くにたちの暮らしを記録する会)	自 主	12月13日
○ 33	伝統行事 まゆ玉飾り (協力 くにたちの暮らしを記録する会)	自 主	1月8日
○ 34	伝統行事 節分・豆まき	自 主	2月3日
○ 35	伝統行事 ひな人形飾り	自 主	2月17日～3月8日
○ 36	伝統行事 ひし餅作り	自 主	2月26日

##### ②郷土の自然環境を学び体験する事業

○ 37	くにたち自然クラブ (全7回)	共 催	6月19日～12月11日
○ 38	天体観測 冬の星空ウォッチング (全3回)	自 主	12/2・1/28・2/25
○ 39	冬の生き物探し	共 催	1月29日

○ こどもおすすめ事業

● 新規事業

告 事業内容及び説明	入場料等 (円)	入場者数 (人)
医家であった本田家の資料から当時どのような学習過程を経て知識を吸収していたのか具体的な事例を紹介しました。		50
専門委員会の検討から旧本田家住宅の復元過程に関して情報提供できる場を設けその貴重性を改めて認識してもらいました。	—	30
府中用水に関する古文書を判読し、解説も加えることで古文書を読む楽しさや地域の歴史へと目を向けるきっかけとなるよう開催しました。	300	22
本田家旧蔵資料の整理・調査に携わった方を講師に迎え一般の市民や興味をもつ方へ史資料面の情報を発信する場として実施しました。		38
解体工事で確認された歴史的事象等について写真等で紹介し、工事現場で管理していた専門家からの解説を行い旧本田家住宅を理解してもらいました。		32
冬季企画展「むかしのくらし展」関連事業として、郷土文化館に収蔵されている蓄音機でSPレコードを鑑賞しました。	—	39

国立市有形民俗文化財の復元民家旧柳澤家を一般に公開するとともに、農具等の資料を展示しました。	—	延 10,026
市内公立小学校全11校3年生を対象に当館収蔵の民具資料を使い、昔の暮らしを体験してもらいました。	—	771
伝統行事の一環として、端午の節句を中心に、収蔵資料の五月人形を展示し、古民家隣地に鯉のぼりを掲揚しました。	—	延 2,176
郷土文化館、古民家、城山さとのいえで短冊に願いを書き、笹竹につるす行為を通して、年中行事に対する親近感を醸成し、その理解を深めました。	—	延 680
例年、谷保の昔の暮らしぶりを知り、体験する事業として開催してきましたが、コロナ禍のため、参加者は募集せず、技術継承のみ実施しました。	—	14
農作物の収穫に感謝する伝統行事として行ってきました。コロナ感染防止のため、参加者を制限して体験しました。	300	11
和紙で2023年の干支である卯を制作することにより、折り紙という日本の伝統文化を体験しました。	1,000	16
コロナ禍以降における教室開催に向けて、技術の継承と指導者の育成としての実地研修の場として実施しました。	—	11
養蚕の豊作を祈願しおこなわれていたまゆ玉飾り作り体験を行いました。	300	16
豆をまき邪気を払い、福を招くことで、新しい一年に災いが無いようにと節分行事を体験しました。	—	80
豪華な段飾りの雛人形を展示し、郷土文化館や古民家を訪れる人達に日本の風習や工芸の美しさを味わってもらいました。	—	延 2,653
ひし餅は桃の節句のお飾りとして、もち米からひしもちを作る過程を体験してもらいました	600	17

小学生を対象に生きものや自然の観察等様々な体験を通して、自然の大切さを学びました。 共催：NPO法人国立市動物調査会	通年参加費 2,000	延 98
郷土文化館武蔵野庭園において、国立天文台の講師からお話を聞きながら、大型天体望遠鏡で国立から見える宇宙を観察しました。	—	延 109
自然クラブ卒業生を対象としたジュニアリーダー育成講座で、動植物など自然の観察方法等を学びました。 共催：NPO法人国立市動物調査会	100	26

(3) 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業(定款第4条第3号)  
 [市民総合体育館] (決算額 20,194,330 円)

①健康づくりのスポーツ事業

実施事業 通し番号	報		
	事 業 名	自主・共催	実施日・期間
1	やさしいヨガ ①(8日間) ②(8日間) ③(8日間) ④(8日間)	自 主	5月11日～6月29日 8月31日～10月19日 10月26日～12月21日 2月1日～3月22日
2	初めての気功と健康太極拳 ①(8日間) ②(8日間) ③(8日間) ④(8日間) ⑤(8日間)	自 主	4月5日～5月31日 6月7日～7月26日 9月6日～10月25日 11月1日～12月20日 1月10日～3月7日
3	太極拳24式・48式 ①(8日間) ②(8日間) ③(8日間) ④(8日間) ⑤(8日間)	自 主	4月5日～5月31日 6月7日～7月26日 9月6日～10月25日 11月1日～12月20日 1月10日～3月7日
4	水中リズムウォーキング ①(8日間) ②(8日間) ③(8日間) ④(8日間)	自 主	4月20日～6月15日 9月7日～11月2日 11月9日～1月11日 2月1日～3月22日
5	骨盤調整&エアロビクス ①(8日間) ②(8日間) ③(8日間) ④(8日間)	自 主	4月9日～5月28日 6月18日～8月6日 11月5日～12月24日 1月21日～3月18日
6	楽しいフラダンス ①(6日間) ②(6日間) ③(6日間)	自 主	4月21日～7月7日 9月1日～11月17日 12月1日～3月2日
7	インターバル速歩 12回	自 主	4月～3月の毎月 第一金曜日

②スポーツ及びレクリエーションの普及事業

8	初心者ゴルフ教室 (12日間)	自 主	4月5日～7月1日
9	レベルアップゴルフ① (12日間) レベルアップゴルフ② (6日間)	自 主	9月6日～12月2日 2月7日～3月24日

③親と子供のスポーツ体験事業

実施事業 通し番号	報		
	事 業 名	自主・共催	実施日・期間
10	親子体操教室 ①(8日間) ②(8日間) ③(8日間)	自 主	5月6日～7月1日 9月2日～11月4日 1月13日～3月10日
11	親子野球教室 ①(1日) ②(1日)	自 主	10月29日 3月4日
12	親子スイミング教室 ①(6日間) ②(6日間) ③(6日間)	自 主	5月9日～6月13日 11月7日～12月12日 2月6日～3月13日



告 事業内容及び説明	参加費等 (円)	参加者数 (人)
ヨガの基本的な動作をわかりやすく取り入れ、身体をリラックスさせて心身のリフレッシュと健康増進を目指した事業を実施しました。	5,000	664
	5,000	644
	5,000	645
	5,000	657
初心者向けの13勢基本法の太極拳にゆっくりとした呼吸法を取入れ、足腰を鍛錬し、健康増進を目指した事業を実施しました。	5,000	343
	5,000	328
	5,000	340
	5,000	353
	5,000	337
中国武術の一派をもとに制定された健康法として、中国政府が編纂・制定した太極拳を学び、健康増進を目指した事業を実施しました。	5,000	389
	5,000	388
	5,000	411
	5,000	422
	5,000	416
水中を歩いたりストレッチ、ダンス等を行うことにより、浮力を利用し身体全体を動かすなど、健康増進を目指した事業を実施しました。	5,000	381
	5,000	385
	5,000	362
	5,000	380
音楽のリズムに合わせた有酸素運動に加えて、骨盤を調整するストレッチを取り入れ、健康な身体作りを目指した事業を実施しました。 ※体育室がワクチン接種会場として使用されたため③は中止しました。	5,000	289
	5,000	265
	5,000	0
	5,000	248
音楽に合わせてバランスを取りながら、優雅に全身を動かすことにより健康増進を目指した事業を実施しました。	5,000	136
	5,000	123
	5,000	142
「さっさか歩き」と「ゆっくり歩き」を交互に繰り返すウォーキング法の講習会です。毎月第1金曜日に申込不要の自由参加で開催しました。 ※雨のため9月、10月は中止しました。	無料	271

ゴルフの基本的な技術指導を行い、ゴルフの楽しさや技術とルールを学ぶため事業を実施しました。	18,000	437
ゴルフの応用的な技術指導とルールを学ぶとともに参加者がレベルアップする事業を実施しました。 ※雪のため2月10日は中止しました。	18,000	446
	9,000	193

告 事業内容及び説明	参加費等 (円)	参加者数 (人)
親子で一緒に運動することにより動く楽しさを知るとともに、親子のコミュニケーションづくりとして事業を実施しました。 ※体育室がワクチン接種会場として使用されたため①は中止しました。	5,000	0
	5,000	84組 173
	5,000	159組 318
幼稚園の年中から小学2年生までを対象に、プロの指導員により野球を基礎から学ぶ場を提供することにより、運動の楽しさを知ってもらうために事業を実施しました。	無料	55組 110 57組 114
親子で水に慣れるとともに、親子のコミュニケーションづくりとして事業を実施しました。	4,000	94組 199
	4,000	95組 190
	4,000	92組 189

④小中学生スポーツ体験事業

○	13	小中学生無料開放 (夏休み1回) (冬休み1回) (春休み1回)	自主	7月27日 1月6日 3月27日
○	14	小学生バドミントン教室 ① (6日間) ② (6日間)	自主	4月30日～6月4日 9月3日～10月15日
○	15	初心者ミニバスケット教室 (1回 2日間)	自主	8月2日～8月4日
○	16	小学生高学年テニス教室 (3日間)	自主	8月3日～8月5日
○	17	小学生かけっこ教室 (8日間)	自主	5月27日～7月15日
○	18	サッカークリニック (1日間)	自主	1月15日
○	19	小学生夏休み水泳教室	自主	8月1日～8月5日 8月15日～8月19日

⑤共催事業

○	20	第30回ファミリーフェスティバル	共催	5月5日
	21	第32回くにたちウォーキング	共催	10月10日
	22	第32回ダンスコレクション	実行委員会	2月5日
	23	スポーツ講演会	共催	2月14日
○	24	小学生初心者水泳教室 (高学年、低学年)	共催	5月11日～6月3日 6月10日～7月8日

⑥協力事業

	25	体力テスト対策 一小 (1～6年生)	協力	5月、6月
--	----	-----------------------	----	-------

○こどもおすすめ事業

小・中学生を対象に学校の長期休暇期間中、子ども同士や親子で卓球、バドミントン、水泳を楽しく体験し、ルールを学び、スポーツに親しむ事業を実施しました。各種目には指導者を配置しアドバイスをを行いました。	無料	195 76 138
小学生を対象に専門の指導員を派遣し、サーブ・レシーブ・スマッシュなどバドミントンを基礎から学びました。 ※体育室がワクチン接種会場として使用されたため①は中止しました。	2,000	0 99
小学生の初心者を対象に、ミニバスケットのゴールでドリブルやシュートなどの基礎を学びました。 ※体育室がワクチン接種会場として使用したため中止しました。	1,000	0
小学4年生から6年生を対象に、サーブ・レシーブ・ボレーなどのテニスの基礎を学びました。	1,000	38
小学生を対象にスポーツイベントを開催し、専門の指導員によりスポーツの楽しさを経験しました。	7,000	240
小学生を対象に専門の指導員を派遣し、サッカーの基礎や応用を学ぶ場を提供することにより楽しさを知るために事業を実施しました。	無料	187
小学校で行っていた水泳教室は酷暑中止が多かったことから、会場を総合体育館室内プールに変え財団主催で行いました。	1,000	356 307

総合体育館及びその周辺にスポーツやゲームのコーナーを設け、子どもを中心に家族で楽しんでもらうイベントを開催しました。共催：国立市体育協会 ※体育室がワクチン接種会場として使用したため中止しました。	無料	0
A：8.2km、S：12.2kmの2コースで実施しました。完歩賞を発行するなど楽しく参加できるようにするとともに、完走後に抽選会を開催し商品を出しました。共催：国立市体育協会 協賛：㈱ヤクルト本社中央研究所、㈱FSX、(公社)国立市シルバー人材センター	大人 500 子供 200	387
総合体育館と市民芸術小ホールの利用団体によるダンス活動の成果を発表するとともに、ダンスの普及を図るために開催しました。	指定1,000	231
スポーツに携わった関係者等による講演会を開催し、スポーツの普及を図りました。共催：国立市体育協会	無料	140
泳げない小学生を対象に、泳げるようになることを目的に実施しました。 共催：国立市	無料	201 211

小学生を対象に全国で行われる体力テスト対策を行います。テストは屋内が5種目、屋外が3種目。※中止しました。	無料	0
---	----	---

(4) 市民の自主的な文化・スポーツ活動の奨励及び団体の育成事業（定款第4条第4号）  
 [総務課] (決算額 1,150,000 円)

ア. 助成事業

実施事業 通し番号	報	
	事業名 (団体名)	実施月日
1	第8回国立まと火・ (国立まと火実行委員会)	7月17日
2	くにたち映画祭2022 (くにたち映画祭2022実行委員会)	10月9日~12月10日
3	0歳からのオペラ「まほうのふえ」 (コロレ・ヴィータ・ローザ)	11月3日
4	第32回ダンスコレクション (第32回ダンスコレクション実行委員会)	2月5日
5	第46回塞の神どんど焼 (塞の神どんど焼き実行委員会)	1月9日
6	伐採された樹木に新たな命を！ (伐採された樹木に新たな命を！会)	2月12日~3月5日
7	大人のためのお話会500回開催に伴う記念誌発行 (くにたちお話の会)	4月20日

\*「春うらら国立・立川さくらウォーキング」は悪天候により参加者の安全を図るため中止しましたが、100,000円支出済であり、すでに広報費を支出していたことから50,000円を助成金としました。

(5) 財団広報誌「オアシス」の発行等（定款第4条第7号）  
 [総務課] (決算額 4,607,862 円)

実施事業 通し番号	報	
	事業名 (団体名)	実施月日
1	財団広報誌「オアシス」の発行事業	4月、6月、8月 10月、12月、2月
2	財団ホームページの管理事業	随時

告 事業内容及び説明	助成金 (円)	入場者数 等(人)
国立市と児童交流を続けてきた北秋田郡合川町（現在北秋田市合川地区）で古くから行われてきた伝統行事の「まと火」を国立市の夏のイベントとして実施しました。残念ながら2年間はコロナ禍により中止していましたが、今年は規模を縮小して開催しました。	200,000	1,500
「まちじゅうが映画館」と題して、まちなかの施設や個人カフェ、ミニシアターにて2か月にわたって10作品を上映し、あわせてトークも実施しました。	100,000	1,045
子どもたちやオペラが初めての方にも分かりやすく地域の方々に手触り感のある公演を届けたい思いから、モーツァルト作曲の大人気オペラ「魔笛」を再解釈し、上演しました。	200,000	291
ダンスを通して文化・スポーツの諸活動の育成と豊かな発展を目的とした文化・レクリエーションのイベント「ダンスコレクション」を通じてふれあいの場づくり、青少年の健全育成、まちの賑わい創出と地域の活性化を図りました。	300,000	692
新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、まゆ玉の製作・配布を取りやめ、あらかじめ集めた正月飾りを燃やして新型コロナウイルスの撲滅祈願をしました。規模を小さくし、密にならない程度の参加者となりましたが、地域の伝統行事を絶やすことなく事業を継続しました。	150,000	700
選定、伐採された樹木を加工して新たな命を生み出す作業をしました。太い松の木を削ってベンチを作ったり、市内で伐採された木の小枝を加工して太鼓のばちやネームプレート、スプーンの柄を作成しました。また、桜の小枝や樹皮を煮出して桜染めを行いました。	50,000	80
くにたちお話の会は市内で図書館を中心として児童館、学童保育所、保育園、幼稚園、小学校などで、子どもたちにお話を語る活動を実施しています。お話を広めるため、毎月一回大人のためのお話を開催し、ここで500回を迎えることから記念誌を発行し、今後の活動につなげていきました。	100,000	75

告 事業内容及び説明	事業費 (円)	発行数 (部)
各館の事業を中心に年6回隔月に「オアシス」を発行し市内全世帯に配布しました。 発行部数 毎回約43,000部、4ページ6回 発行形態 タブloid判 全頁フルカラー 広告1枠(8センチ×6センチ) 広告収入3社20枠 (505,000円)	3,683,862	259,610
ホームページを通して、事業内容、財団の情報を発信しました。 随時更新	924,000	—

## (6) 総合評価

### (芸術小ホール)

- ・2019年度から始まった新型コロナウイルス拡大の影響は徐々に薄らいできたものの、催し物への来場者数はいまだコロナ前と同程度までには至っていません。また客席数および定員を100%に戻したのは3月10日以降で、今年度は回復途上の状況にあったといえます。
- ・「芸術環境創造事業」では、大学や市内の小中学校、地域の芸術団体や個人との協働により事業を実施しました。事業ごとに出演者、関係者との協議を重ね、芸小ホールならではの事業企画に努めました。公演のほかアウトリーチ、講座、旧駅舎でのプロモーションなど市民参加を促進する手法を積極的に取り入れました。また市民一芸塾受講者の発表を無料クリスマスコンサート内で行うなど、各事業間の連携でより充実した内容を図りました。
- ・「芸術振興事業」では、市民参加者・スタッフらの力を結集し国立を描いた創作オペラ作品の世界初演、コロナ関連交付金の活用で市民の来場促進を狙った若手演奏家によるリサイタルやワークショップ、芸小ホール初の創作作品外部販売（文化庁巡回公演事業）など、積極的な事業展開に取り組みました。定番となったクラシック、落語等事業においては企画運営力をよりブラッシュアップさせることに尽力し、質の向上に努めました。
- ・その他、実行委員会参画事業ではコロナ禍からの立ち上がりに注視しつつ、対策を講じながら可能な限り活動を従来の規模に戻すために検討を重ね、文化芸術振興に取り組みました。
- ・施設・設備の老朽化がますます進み、運営の基盤である安全性担保への危機感にさらされています。対応負担の予測も困難となる一方ですが、施設利用状況を鑑み自主・貸館事業へ支障をきたさぬよう十分な注意と経験則、蓄積をもとに管理運営を進めていきます。
- ・設立からの35年を振り返ると、社会情勢や時代の変化に対応しながら市民とともに歩んできた蓄積が現在の事業に現れているといえます。周辺に多くの他市文化施設がある中、施設のコンパクトさと築いてきた市民や芸術家等との関係性を強みに、細やかさと大胆さを兼ね備えた芸小ホールならではの特徴ある事業展開を今後も行っていきたいと思います。

### (郷土文化館)

- ・芸術性が世界的に評価されている折り紙やその他の様々な紙の工芸品を通して、日本の伝統文化を再認識してもらい、モノを創造する喜び、面白さ、不思議さなどを実感していただくため実施した紙の工芸展ですが、子どもワークショップ参加者の作品を展示することで、同展への参加意識を持ってもらえるようにしました。展示の観覧者数は、前回は上回る結果となりました。また、前回同様に、実行委員や出品者等のPR効果は、展示・ワークショップのいずれにおいても高いものがあつたと察することができました。実行委員会と協議しながら、次世代への継承という観点も含め、同展の今後の方向性を検討したいと考えております。
- ・秋季企画展ですが、長年、国立の民具調査に携わり、当館の事業にも貢献してきたくたちの暮らしを記録する会の活動について振り返る機会となりました。今後も時宜にかなった企画展を継続していきたいと思っています。
- ・むかしの暮らし展ですが、民具案内関連展示として実施しました。小学3年生の社会科の授業の内容に合わせている為、内容が例年似通ってしまうため、コーナー展示により特色を出しています。今年度は、「食の民具」をテーマに展示を行いました。今後も、コ

一ナー展で変化を見せるとともに、ベースとなっている展示部分に関してもより、充実したものになるよう改善していきたいと考えております。

- ・市内小学校3年生を対象とした民具案内は、毎年、くにたちの暮らしを記録する会の皆さんにご協力をいただいておりますが、今回はコロナ禍ということで会の皆さんと小学生との質問タイムを対面ではなく、リモートを活用したり、内容を変更しましたが、全校来館して実施できたことは良かったと思っています。
- ・郷土文化館は、SDGs 目標 4「質の高い教育をみんなに、生涯学習の機会促進」を踏まえ、今後においても資料収集・調査・研究事業、市民が参加・体験事業、及び様々な企画展示及び企画事業を進めていきたいと考えています。

#### (総合体育館)

- ・2022年度も新型コロナウイルス対策を行いながら運営を行いました。4月1日から4月26日まで及び7月11日から8月31日までは第一体育室、9月1日から10月31日までは第一・第二会議室、企画資料室、ベビールーム、11月1日から12月31日までは第二体育室全面、1月1日から3月31日までは第二体育室半面が新型コロナワクチン接種会場となったため、それぞれ利用を中止しました。
- ・第32回くにたちウォーキングですが毎年参加者から大変好評を得ている事業で、2022年度は10月10日の体育の日に行われ、「癒される川沿いの散歩道」をキャッチフレーズに2コースに分かれ、372人が参加し、ウォーキングを楽しみながら健康増進と体力向上を図りました。
- ・スポーツ講演会は新型コロナウイルスの影響で4年ぶりの開催となりました。2022年度は2月14日にくにたち市民芸術小ホール開催し、元プロ野球選手のイチロー選手をはじめ数多くのプロスポーツ選手やオリンピック選手のメンタルトレーニングのほか、企業経営者・医者・学生向けの講演を全国で行っている、メンタルトレーナーの高畑好秀氏をお迎えし、スポーツの試合や受験に役立つメンタル力の高め方についてご講演をいただきました。当日は大変多くの方にお越しいただき、試合や受験に120%発揮する方法や子供の隠れた可能性の引き出し方・伸ばし方などをスポーツと教育の両面から実践的にお話をいただき大変好評でした。
- ・新型コロナワクチン接種会場となっていた期間の体育室が利用できない期間は、国立市民のスポーツ・レクリエーション活動の代替場所として、また、利用者の健康増進・体力向上のため、NHK学園の体育館を2022年度は30団体がお借りしました。
- ・しょうがいしゃスポーツを推進・支援するため、東京都等が主催するしょうがいしゃスポーツ関連の講習会・セミナー等の会場を提供し連携を図りました。
- ・有料公園施設は、年末年始(12月29日から1月3日)にテニス、野球、サッカー場の無料開放を行っていますが、2022年度は流域下水道上部広場コートを新たに開放し、利用者の利便性向上、健康増進・体力向上を図りました。

#### (総務課)

- ・広報紙「オアシス」発行事業については、より市民に見やすいことを心掛けて編集しました。今後においても財団として、オアシスは非常に重要な広報媒体でありますので、より親しみやすく、多くの市民に読んでいただけるよう編集の創意工夫に努めていきます。オアシスへの広告掲載についてはコロナ禍の影響で減少してしまいましたが、掲載依頼等についても引き続き努力していきます。また、ホームページについては、市民にわかりやすく、早急に情報提供できるよう改善を図っていきます。

## 2. 指定管理事業

国立市との協定による施設の管理運営事業

### (1) 市民芸術小ホールの利用状況

#### (ア) 利用料収入

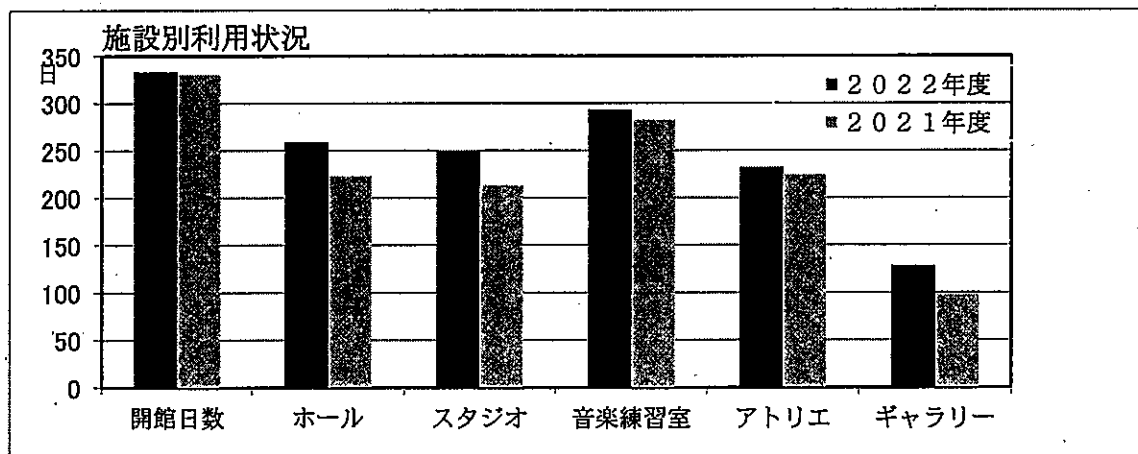
施設名	2022年度			2021年度			増(-)減
	施設利用料	付属設備利用料	利用料合計	施設利用料	付属設備利用料	利用料合計	
ホール	6,238,840	6,003,850	12,242,690	5,822,970	5,781,550	11,604,520	638,170
スタジオ	795,570	1,589,800	2,385,370	1,268,970	601,900	1,870,870	514,500
音楽練習室	1,524,600	168,900	1,693,500	1,284,170	136,400	1,420,570	272,930
アトリエ	449,650	11,500	461,150	424,700	2,800	427,500	33,650
ギャラリー	784,640	16,000	800,640	532,800	2,800	535,600	265,040
合計	9,793,300	7,790,050	17,583,350	9,333,610	6,525,450	15,859,060	1,724,290

#### ・減免利用料

2022年度減免利用料額			2021年度減免利用料額			差引増(-)減額
施設	付属設備	合計	施設	付属設備	合計	
9,826,200	7,261,200	17,087,400				単位：円
8,278,300	5,601,200	13,879,500	1,547,900	1,660,000	3,207,900	

#### (イ) 施設別利用状況

年度	施設名	利用日数	利用率	利用件数	利用者数	
					市内	市外
2022年度 開館日数 333日	ホール	259日	87.8%	296件	275件	21件
	スタジオ	249	77.6	325	282	43
	音楽練習室	293	88.3	436	400	36
	アトリエ	232	70.3	287	278	9
	ギャラリー	128	42.2	128	116	12
	エントランス	32	9.6	32	32	0
	計			1,504	1,383	121
2021年度 開館日数 330日	ホール	222日	75.8%	254件	232件	22件
	スタジオ	213	67.6	274	240	34
	音楽練習室	282	85.5	388	361	27
	アトリエ	224	68.7	265	264	1
	ギャラリー	97	29.8	97	95	2
	エントランス	30	9.1	30	30	0
	計			1,308	1,222	86





市民芸術小ホール月別利用状況

<2022年度>

単位：回

	ホール			スタジオ			音楽練習室			アトリエ			ギャラリー	エントランス
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	全日	全日
2022年 4月	19	19	18	20	18	17	17	16	20	26	27	22	24	2
2022年 5月	16	17	13	17	14	9	20	16	18	14	10	6	12	1
2022年 6月	13	22	17	17	14	11	18	14	9	14	10	6	8	2
2022年 7月	17	21	19	17	18	15	22	18	14	15	10	6	1	2
2022年 8月	19	21	18	14	17	8	22	15	13	11	6	2	5	2
2022年 9月	21	23	21	17	18	8	24	13	14	15	9	7	7	3
2022年 10月	18	18	19	17	17	12	24	20	13	18	14	8	16	3
2022年 11月	20	22	20	23	21	16	23	24	19	16	13	8	16	3
2022年 12月	18	19	19	17	14	13	22	20	13	16	10	6	6	2
2023年 1月	17	15	15	17	12	11	22	18	14	13	6	2	6	3
2023年 2月	17	17	13	15	12	12	21	19	16	16	10	10	13	7
2023年 3月	19	20	17	22	22	14	20	17	12	23	11	10	14	2
合 計	214	234	209	213	197	146	255	210	175	197	136	93	128	32

コロナ対策：《定員》2023/3/13より定員を通常に戻す。同日よりホール・スタジオ：最前列も利用可とする。  
電気設備工事の為休館：2023/1/24～26（休館日）

<2021年度>

単位：回

	ホール			スタジオ			音楽練習室			アトリエ			ギャラリー	エントランス
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	全日	全日
2021年 4月	19	19	16	14	13	6	18	21	14	13	11	5	20	5
2021年 5月	13	16	21	10	12	7	14	13	11	12	7	2	9	2
2021年 6月	12	14	10	10	12	10	14	16	13	12	7	4	8	3
2021年 7月	10	13	8	13	11	7	11	8	11	10	8	4	3	3
2021年 8月	13	17	13	16	16	11	17	14	13	12	7	3	4	2
2021年 9月	15	14	13	9	9	7	15	15	15	15	12	5	3	2
2021年 10月	16	20	19	20	17	11	20	21	12	13	10	5	3	1
2021年 11月	15	15	16	12	13	13	22	19	16	15	8	2	7	2
2021年 12月	18	20	20	17	16	17	18	18	15	13	11	5	5	3
2022年 1月	14	13	15	13	14	12	16	13	15	17	10	5	4	2
2022年 2月	18	17	18	17	18	13	21	22	23	20	14	9	10	3
2022年 3月	18	17	16	14	15	18	20	21	23	20	18	16	21	2
合 計	181	195	185	165	166	132	206	201	181	172	123	65	97	30

コロナ対策：《定員》10/24まで定員50% / 10/25～ ホール・スタジオ：最前列のみ不使用、  
音楽練習室：50%、アトリエ：通常定員、ギャラリー：40名  
《時間》～5/31 21時以降は控える / ～10/24 催し物21時まで、練習20時まで

## (2) 国立市古民家を含む郷土文化館の利用状況

## (ア) 施設・設備利用料収入

単位：円

年 度	利用料収入額			減免利用料		
	施設	付属設備	合計	施設	付属設備	合計
2022年度	1,061,800	98,500	1,160,300	1,176,300	29,500	1,205,800
2021年度	950,700	98,500	1,049,200	1,505,300	23,000	1,528,300
増(一)減	111,100	0	111,100	-329,000	6,500	-322,500

※2021年度、2022年度ともコロナの影響で施設利用人数の制限や、研修室1、2の結合運用を継続

※2022年度は、企画展数の関係で減免の特別展示室利用減

## (イ) 施設別利用状況

単位：件

施設名	年 度	利用時間帯別利用件数(年間 335日)														
		午前			午後			夜間			全日			合計		
		有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計
講 堂	2022年度	168	32	200	195	22	217	121	9	130	0	0	0	484	63	547
	2021年度	133	29	162	184	21	205	100	7	107	0	0	0	417	57	474
研修室1	2022年度	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	2021年度	0	1	1	3	1	4	0	0	0	0	0	0	3	2	5
研修室2	2022年度	129	59	188	203	53	256	10	6	16	0	0	0	342	118	460
	2021年度	128	32	160	189	42	231	5	7	12	0	0	0	322	81	403
特別展示室	2022年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	136	136	0	136	136
	2021年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	187	187	0	187	187
合 計	2022年度	297	91	388	399	75	474	131	15	146	0	136	136	827	317	1,144
	2021年度	261	62	323	376	64	440	105	14	119	0	187	187	742	327	1,069

※2021年度、2022年度ともコロナの影響で施設利用人数の制限や、研修室1、2の結合運用を継続

※2022年度は、企画展数の関係で減免の特別展示室利用減

## (ウ) 付属設備利用状況

単位：件

年 度	ビデオ映写装置			移動展示ケース			スライド映写機			16ミリ映写機			OHP			陶芸用電気釜			合 計		
	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計
2022年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	5	22	17	5	22
2021年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	4	21	17	4	21

## (エ) 事業収入等状況

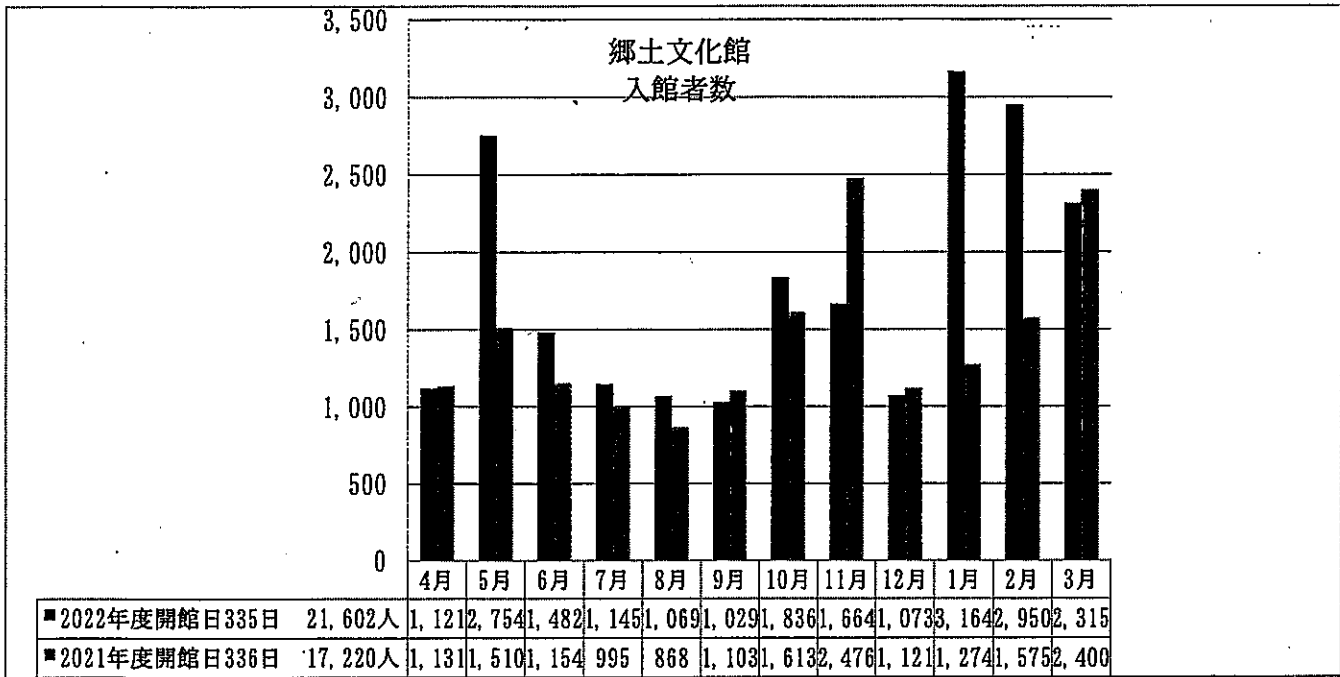
年 度	入館者(人)			事業収入等(円)					事業参加者(人)		
	郷土文化館	古民家	合計	入場料	参加費	図録売上	その他	合計	有 料	無 料	合計
2022年度	21,602	10,026	31,628	0	141,800	520,000	23,530	685,330	389	19,577	19,966
2021年度	17,220	11,062	28,282	0	79,300	676,500	15,640	771,440	232	22,884	23,116
増(一)減	4,382	-1,036	3,346	0	62,500	-156,500	7,890	-86,110	157	-3,307	-3,150

※2021年度はJR東日本の「駅からハイキング」等、集客が期待できるイベントが一部中止

※2022年度は「駅からハイキング」、「くにたちウォーキング」などが集客に寄与

※2023年1月からスタートしたマンホールカード配布は、全国区で大きく集客に寄与

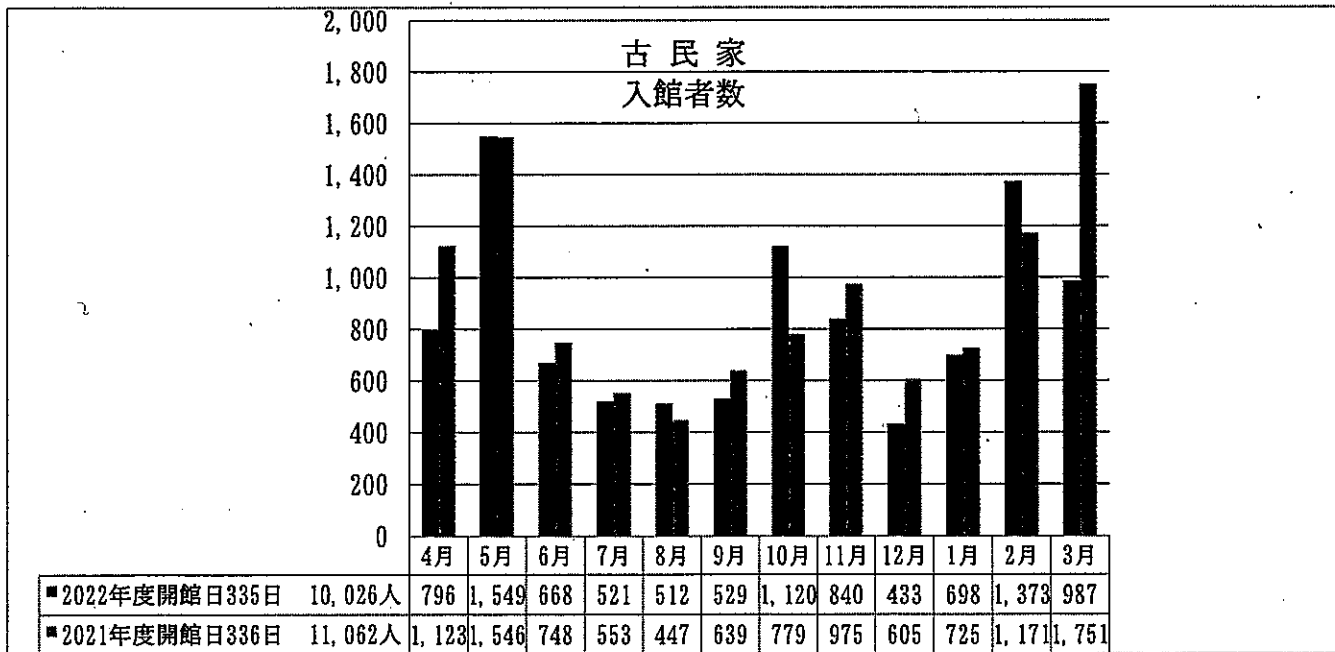
※2021年度の無料事業参加者増は、旧国立駅舎でのイベントが大きく寄与



※2021年度はJR東日本の「駅からハイキング」等、集客が期待できるイベントが一部中止

※2022年度は「駅からハイキング」、「くにたちウォーキング」などが集客に寄与

※2023年1月からスタートしたマンホールカード配布は、全国区で大きく集客に寄与



※2021年度は3/27に行われた「春うらら桜ウォーキング」が大きく集客に寄与（716名）

※2022年度は「駅からハイキング」、「くにたちウォーキング」などが集客に寄与

※2022年度は最後に来て「春うらら桜ウォーキング」の悪天候での中止等で集客数が伸び悩み

(3) 市民総合体育館の利用状況 (開館日数: 333 日)

4/1~4/26及び7/11~8/31は第一体育室、9/1~10/31は第一・第二会議室、企画資料室、ベビールーム、11/1~12/31は第二体育室全面、1/1~3/31は第二体育室半面が新型コロナワクチン接種会場のため使用中止。

ア 利用料収入

単位:円

	利用料収入額			減免利用料			
	個人	団体貸切	合計	減免	グリーンパス等	特保	合計
2022年度	19,614,140	11,633,895	31,248,035	1,678,300	4,333,300	126,900	6,138,500
2021年度	16,281,200	13,560,271	29,841,471	2,102,900	3,500,550	90,100	5,693,550
増減	3,332,940	-1,926,376	1,406,564	-424,600	832,750	36,800	444,950

イ 個人利用の状況

単位:人

	第一、二、三体育室			室内プール			
	個人	グリーンパス等	合計	個人	グリーンパス等	特保	合計
2022年度	15,263	2,580	17,843	18,693	7,834	26	26,553
2021年度	10,826	2,553	13,379	17,287	6,219	44	23,550
増減	4,437	27	4,464	1,406	1,615	-18	3,003

	トレーニング室				合計			
	個人	グリーンパス等	特保	合計	個人	グリーンパス等	特保	合計
2022年度	20,006	14,448	405	34,859	53,962	24,862	431	79,255
2021年度	16,741	10,588	249	27,578	44,854	19,360	293	64,507
増減	3,265	3,860	156	7,281	9,108	5,502	138	14,748

ウ 団体貸切利用の状況

単位:(団体数)団体、(人数)人

	第一~三体育室		室内プール		会議室		ステージ
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数
2022年度	2,194	39,188	542	11,711	375	5,585	15
2021年度	1,878	29,629	535	10,995	237	3,022	13
増減	316	9,559	7	716	138	2,563	2

単位:(団体数)団体、(人数)人

	合計	
	団体数	人数
2022年度	3,126	56,484
2021年度	2,663	43,646
増減	463	12,838

総利用者数 単位:人

個人利用+団体貸切+保育室	
2022年度	137,088
2021年度	108,859
増(-)減	28,229

エ その他 保育室利用状況

保育室	利用件数	人数
	430件	1,349人

駐車場利用状況(届け出台数)

駐車場	利用台数	1日平均
	17,976台	54.0台

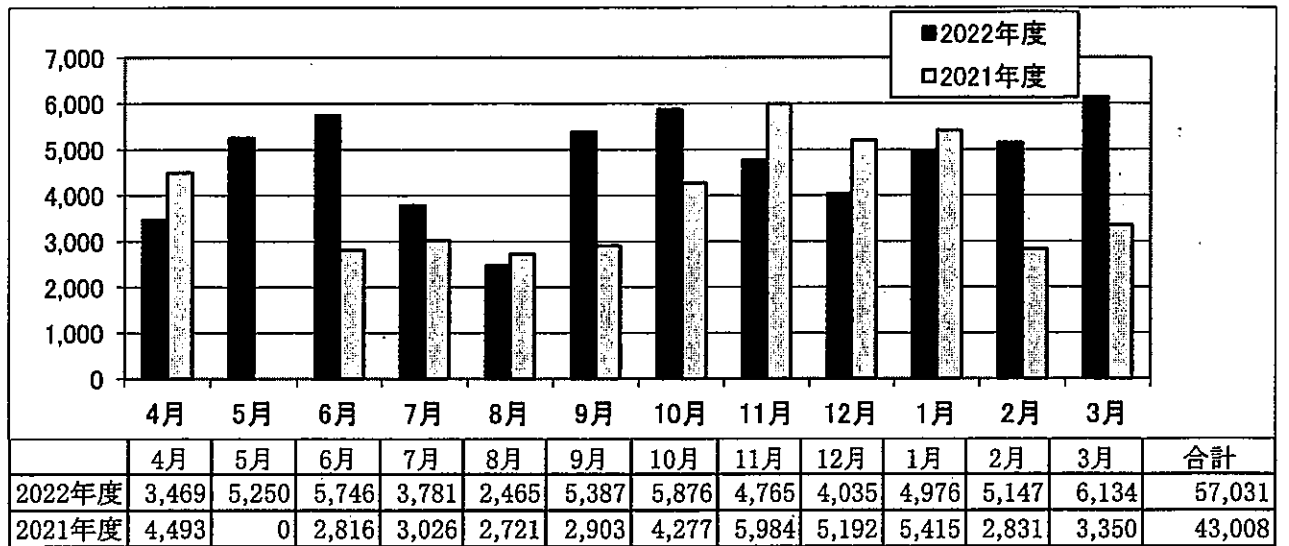
オ くにたち南市民プラザ:トレーニング室利用状況

(開館日数: 206 日)

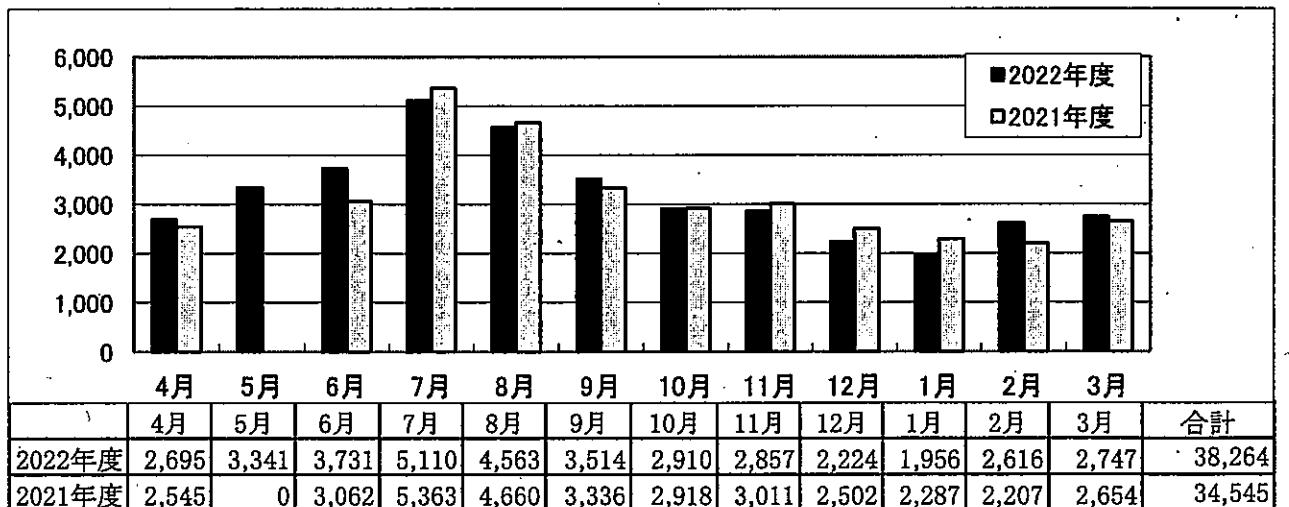
	個人利用料 収入額(円)	減免利用料(円)				利用人数(人)				
		グリーンパス	特保	無料券	合計	個人	グリーンパス	特保	無料券	合計
2022年度	798,450	407,700	1,200	59,700	468,600	1,636	2,718	4	199	4,557
2021年度	840,300	375,000	11,100	22,200	408,300	1,630	2,500	37	74	4,241
増減	-41,850	32,700	-9,900	37,500	60,300	6	218	-33	125	316

カ 第一、二、三体育室月別利用状況

単位(人)

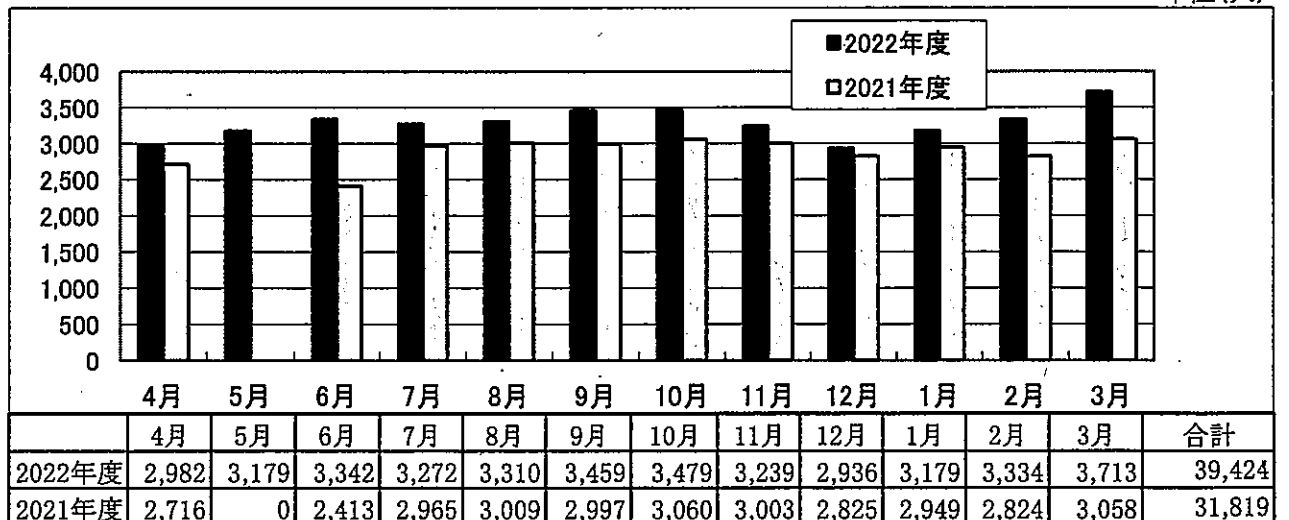


キ 室内プール月別利用状況



ク トレーニング室月別利用状況(くにたち南市民プラザを含む)

単位(人)



(4) 有料公園施設等の利用状況

ア 利用料収入

単位:円

	利用料収入額			
	テニス	野球	サッカー	合計
2022年度	17,102,350	1,345,500	334,100	18,781,950
2021年度	19,118,050	1,533,025	425,750	21,076,825

減免利用料

単位:円

	減免利用額			
	テニス	野球	サッカー	合計
2022年度	463,800	2,643,875	578,500	3,686,175
2021年度	481,800	2,510,950	534,950	3,527,700

イ テニスコートの利用状況

単位:1面1時間

	テニスコート			
	谷保	矢川	広場	合計
2022年度	8,260	7,884	10,907	27,051
2021年度	8,853	8,381	12,424	29,658

テニスコートの利用率

単位:1面1時間

	テニスコート利用率			
	谷保	矢川	広場	平均
2022年度	76.91%	71.99%	63.42%	70.77%
2021年度	81.16%	76.50%	72.10%	76.59%

ウ 野球・サッカーの利用状況

単位:1面1時間

	野球場				サッカー	合計
	谷保第三	河川敷AB	少年野球場	小計		
2022年度	2,240	3,335	1,456	7,031	1,730	8,761
2021年度	2,307	3,357	1,373	7,037	1,821	8,858

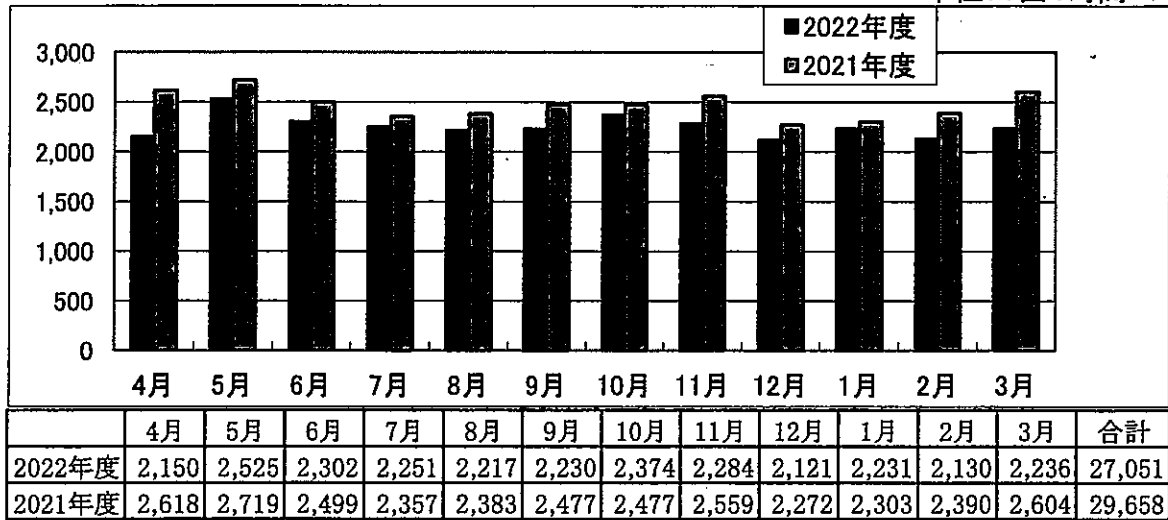
野球・サッカーの利用率

単位:1面1時間

	野球場利用率				サッカー場利用率	平均
	谷保第三	河川敷AB	少年野球場	平均		
2022年度	65.79%	46.08%	50.03%	53.97%	47.46%	52.34%
2021年度	63.08%	47.07%	47.17%	52.44%	50.04%	51.84%

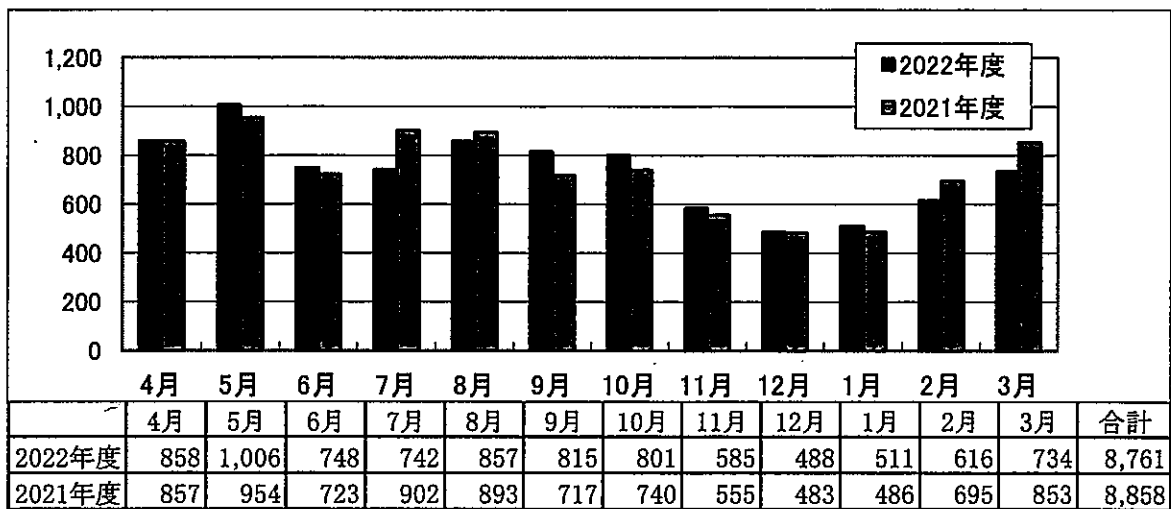
エ 谷保・矢川・広場テニスコート月別利用状況

単位:1面1時間



オ 野球・サッカー月別利用状況

単位:1面1時間



### 3. 管 理

#### (1) 役員及び役員会等に関する事業

##### ア. 理事、監事及び評議員等の名簿

##### (ア) 理事

(2023年3月31日現在)

役職名	氏名	任 期	常勤・非常勤	当法人以外の役職
理事長	竹内光博	2021年5月31日から2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の日まで	非常勤	国立市副市長
常務理事	高橋一成	〃	常 勤	公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団事務局長
理 事	池田良二	〃	非常勤	武蔵野美術大学名誉教授
〃	金子一秀	〃	〃	東京女子体育大学・東京女子体育短期大学学長
〃	近藤佳子	〃	〃	国立の自然と文化を守る会副会長
〃	武田忠善	〃	〃	国立音楽大学学長
〃	橋本祐幸	〃	〃	国立市教育委員会教育部長
〃	峰岸秀征	〃	〃	国立市体育協会会長

##### (イ) 監事

(2023年3月31日現在)

役職名	氏名	任 期	常勤・非常勤	当法人以外の役職
監 事	木村淳二	2019年5月30日から4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の日まで	非常勤	税理士
〃	佐藤収一	〃	〃	会社会長



## (ウ)評議員

(2023年3月31日現在)

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	当法人以外の役職
評議員	宇治康	2021年5月31日から2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の日まで	非常勤	たましん地域文化財団常務理事
〃	尾崎良一	2019年5月30日から4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の日まで	〃	国立市体育協会理事長
〃	笠間信也	〃	〃	NPO国立市動物調査会理事
〃	佐伯安子	〃	〃	くにたちの暮らしを記録する会 会長
〃	坂なつこ	〃	〃	国立大学法人一橋大学大学院 社会学研究科教授
〃	塩野啓子	〃	〃	塩野啓子バレエスタジオ代表
〃	山井佳代子	〃	〃	会社会長
〃	和田哲	〃	〃	国立市文化財保護審議会委員

## イ. 理事会等の開催

## (ア) 理事会

## a 議事事項

開催年月日	件名	会議結果
2022年5月16日	第1号議案 定時評議員会の招集(案) 第2号議案 2021年度事業報告(案) 第3号議案 2021年度決算(案)	可決 可決 可決
2022年10月14日	第4号議案 臨時評議員会の招集(案)	可決
2023年2月17日	第5号議案 臨時評議員会の招集(案) 第6号議案 2023年度事業計画書(案) 第7号議案 2023年度収支予算書(案)と資金調達及び 設備投資の見込みを記載した書類(案)	可決 可決 可決

## b 協議事項

開催年月日	件名	備考
2022年10月14日	協議事項① 2023年度事業計画作成に伴う協議	

c 報告事項

開催年月日	件名	備考
2022年5月16日	報告事項① 運営組織及び事業活動の状況の概要等について 報告事項② 寄附金等特定資産の運用の状況について	
2022年10月14日	報告事項① 臨時職員取扱要綱の一部改正について 報告事項② 理事長・常務理事の職務の執行状況	
2023年2月17日	報告事項① 理事長・常務理事の職務の執行状況 報告事項② 固有職員の退職手当の支給に関する規程の制定について 報告事項③ 固有職員の給与に関する規程の一部改正について 報告事項④ 給与に関する要綱の一部改正について 報告事項⑤ 人事評価に関する規程の一部改正について 報告事項⑥ 嘱託員の設置に関する要綱の一部改正について 報告事項⑦ 処務規程の一部改正	

(イ) 評議員会

a 議事事項

開催年月日	件名	会議結果
2022年5月31日	第1号議案 2021年度決算案	可決
2023年3月6日	第2号議案 2023年度事業計画案 第3号議案 2023年度収支予算案と資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類案	可決 可決

b 協議事項

開催年月日	件名	備考
2022年10月28日	協議事項① 2023年度事業計画作成に伴う協議	

c 報告事項

開催年月日	件名	備考
2022年5月31日	報告事項① 2021年度事業報告 報告事項② 運営組織及び事業活動の状況の概要等について 報告事項③ 寄附金等特定資産の運用状況について	
2022年10月28日	報告事項① 臨時職員取扱要綱の一部改正について 報告事項② 理事長・常務理事の職務の執行状況	

2023年3月6日	報告事項① 理事長・常務理事の職務の執行状況 報告事項② 固有職員の退職手当の支給に関する規程の制定について 報告事項③ 固有職員の給与に関する規程の一部改正について 報告事項④ 給与に関する要綱の一部改正について 報告事項⑤ 人事評価に関する規程の一部改正について 報告事項⑥ 嘱託員の設置に関する要綱の一部改正について 報告事項⑦ 処務規程の一部改正	
-----------	---	--

※その他の報告事項は含みません。

(ウ) 監査

開催年月日	監査事項
2022年5月6日 決算監査	2021年度決算書 2021年度事業報告書
2022年10月28日 中間監査	2022年度収支決算書(上半期分) 2022年度事業報告書(上半期分)



2022年度

# 決 算 書

公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団

## < 目 次 >

- 1 貸借対照表 . . . . . P. 1
- 2 正味財産増減計算書 . . . . . P. 2
- 3 正味財産増減計算書会計別 . . . . . P. 4
- 4 正味財産増減計算書内訳表 . . . . . P. 6
- 5 財務諸表に対する注記 . . . . . P. 8
- 6 付属明細書 . . . . . P. 11
- 7 財産目録 . . . . . P. 12

# 貸借対照表

2023年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	59,620,114	42,735,073	16,885,041
現金	642,428	735,947	△ 93,519
普通預金	28,977,686	11,961,539	17,016,147
定期預金	30,000,000	30,000,000	0
未収金	487,166	5,982,110	△ 5,494,944
前払金	426,450	213,600	212,850
販売品	1,148,560	1,175,866	△ 27,306
貯蔵品	25,150	37,587	12,437
流動資産合計	61,707,440	50,106,649	11,600,791
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産定期預金	312,249,979	312,249,979	0
基本財産合計	312,249,979	312,249,979	0
(2) 特定資産			
くにたちアートビエンナーレ特定資産	295,689	295,689	0
特定資産合計	295,689	295,689	0
(3) その他固定資産			
リース資産	8,493,392	13,698,368	△ 5,204,976
その他固定資産合計	8,493,392	13,698,368	△ 5,204,976
固定資産合計	321,039,060	326,244,036	△ 5,204,976
資産合計	382,746,500	376,350,685	6,395,815
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	44,105,167	31,140,321	12,964,846
前受金	2,120,000	2,097,010	22,990
預り金	647,383	617,428	29,955
賞与引当金	3,302,000	4,719,000	△ 1,417,000
流動負債合計	50,174,550	38,573,759	11,600,791
2. 固定負債			
リース債務	8,493,392	13,698,368	△ 5,204,976
固定負債合計	8,493,392	13,698,368	△ 5,204,976
負債合計	58,667,942	52,272,127	6,395,815
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	312,545,668	312,545,668	0
(うち基本財産への充当額)	312,249,979	312,249,979	0
(うち特定資産への充当額)	295,689	295,689	0
2. 一般正味財産	11,532,890	11,532,890	0
正味財産合計	324,078,558	324,078,558	0
負債及び正味財産合計	382,746,500	376,350,685	6,395,815

# 正味財産増減計算書

2022年 4月 1日から2023年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	170,041	171,600	△ 1,559
基本財産受取利息	170,041	171,600	△ 1,559
定期預金受取利息	170,041	171,600	△ 1,559
特定資産運用益	0	0	0
特定資産受取利息	0	0	0
定期預金受取利息	0	0	0
事業収益	388,125,009	347,162,167	40,962,842
自主・共催事業収益	22,167,942	10,886,960	11,280,982
国立市指定管理料収益	287,081,000	258,400,000	28,681,000
国立市受託料収益	7,636,000	7,636,000	0
利用料金収益	69,593,915	68,701,856	892,059
広告料収益	601,000	481,000	120,000
付帯サービス事業収益	1,045,152	1,056,351	△ 11,199
受取補助金等	72,776,752	64,251,124	8,525,628
国立市補助金収益	66,660,000	63,088,000	3,572,000
国等助成金収入	6,065,052	1,081,424	4,983,628
受取民間助成金	51,700	81,700	△ 30,000
受取寄付金	230,000	0	230,000
受取寄付金	230,000	0	230,000
雑収益	340,759	666,290	△ 325,531
受取利息	961	1,113	△ 152
定期預金受取利息	592	592	0
普通預金受取利息	369	521	△ 152
雑収入	339,798	665,177	△ 325,379
経常収益計	461,642,561	412,251,181	49,391,380
(2) 経常費用			0
事業費	451,234,225	404,841,798	46,392,427
報酬	44,399,160	46,164,772	△ 1,765,612
給料手当	57,395,484	57,735,865	△ 340,381
法定福利費	13,027,499	12,907,806	119,693
臨時雇賃金	2,291,061	2,680,650	△ 389,589
福利厚生費	628,938	675,484	△ 46,546
旅費交通費	4,782,466	2,326,538	2,455,928
会議費	73,736	44,447	29,289
通信運搬費	3,188,273	3,003,649	184,624
消耗品費	9,913,463	8,696,916	1,216,547
印刷製本費	2,717,056	2,705,540	11,516
修繕費	16,093,600	15,628,474	465,126
光熱水料費	67,379,090	42,951,822	24,427,268
燃料費	184,299	184,503	△ 204
賃借料	11,873,731	9,662,087	2,211,644
保険料	825,659	863,032	△ 37,373
諸謝金	13,055,192	4,698,895	8,356,297
手数料	2,014,077	1,972,083	41,994
租税公課	8,249,670	11,301,600	△ 3,051,930
広告宣伝費	261,800	382,800	△ 121,000
支払助成金	1,200,000	1,030,000	170,000
委託料	180,043,729	165,574,971	14,468,758
支払負担金	301,552	383,574	△ 82,022
減価償却費	5,300,456	5,777,856	△ 477,400
雑費	0	103,413	△ 103,413
ソフトウエア関連	3,074,234	3,178,021	△ 103,787
賞与引当金繰入	2,960,000	4,207,000	△ 1,247,000



科 目	当年度	前年度	増 減
管理費	3,383,054	4,701,910	△ 1,318,856
報酬	0	1,224,376	△ 1,224,376
役員報酬	663,800	675,200	△ 11,400
給料手当	1,715,625	1,745,963	△ 30,338
法定福利費	294,878	296,067	△ 1,189
旅費交通費	60,520	36,000	24,520
会議費	5,000	0	5,000
通信運搬費	19,891	△ 4,274	24,165
消耗品費	78,202	23,870	54,332
諸謝金	20,810	15,704	5,106
租税公課	600	0	600
支払負担金	144,000	141,300	2,700
委託料	37,728	35,704	2,024
賞与引当金繰入	342,000	512,000	△ 170,000
返還金	6,955,282	4,150,597	2,804,685
国立市補助金返還金	596,432	20,856	575,576
事業費補助金返還金	11,351	20,856	△ 9,505
管理費補助金返還金	585,081	0	585,081
国立市指定管理料返還金	6,265,109	3,859,403	2,405,706
芸術小ホール指定管理料返還金	4,395	23,652	△ 19,257
郷土文化館指定管理料返還金	56,889	43,162	13,727
総合体育館指定管理料返還金	5,310,939	27,712	5,283,227
有料公園指定管理料返還金	892,886	3,764,877	△ 2,871,991
国立市委託料返還金	93,741	270,338	△ 176,597
市内遺跡整理調査業務受託事業費返還金	93,741	68,446	25,295
特保指導に伴う運動継続支援業務受託事業返還金	0	201,892	△ 201,892
経常費用計	461,572,561	413,694,305	47,878,256
評価損益等調整前当期経常増減額	70,000	△ 1,443,124	1,513,124
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	70,000	△ 1,443,124	1,513,124
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	70,000	△ 1,443,124	1,513,124
法人税等	70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額	0	△ 1,513,124	1,513,124
一般正味財産期首残高	11,532,890	13,046,014	△ 1,513,124
一般正味財産期末残高	11,532,890	11,532,890	0
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0	0	0
受取民間助成金	0	0	0
国等助成金収入	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
国等助成金収入	0	0	0
財政調整積立	0	0	0
民間助成金	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	312,545,668	312,545,668	0
指定正味財産期末残高	312,545,668	312,545,668	0
III 正味財産期末残高	324,078,558	324,078,558	0

# 正味財産増減計算書会計別

2022年 4月 1日から2023年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的会計	収益事業等会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	170,041	0	0	170,041
基本財産受取利息	170,041	0	0	170,041
定期預金受取利息	170,041	0	0	170,041
事業収益	377,439,857	10,685,152	0	388,125,009
自主・共催事業収益	22,167,942	0	0	22,167,942
国立市指定管理料収益	279,611,000	7,470,000	0	287,081,000
国立市受託料収益	7,636,000	0	0	7,636,000
利用料金収益	67,423,915	2,170,000	0	69,593,915
広告料収益	601,000	0	0	601,000
付帯サービス事業収益	0	1,045,152	0	1,045,152
受取補助金等	68,738,617	0	4,038,135	72,776,752
国立市補助金収益	62,621,865	0	4,038,135	66,660,000
国等助成金収入	6,065,052	0	0	6,065,052
受取民間助成金	51,700	0	0	51,700
受取寄付金	230,000			230,000
雑収益	283,005	57,754	0	340,759
受取利息	961	0	0	961
定期預金受取利息	592	0	0	592
普通預金受取利息	369	0	0	369
雑収入	282,044	57,754	0	339,798
経常収益計	446,861,520	10,742,906	4,038,135	461,642,561
(2) 経常費用				0
事業費	440,491,319	10,742,906	0	451,234,225
報酬	43,896,200	1,502,960	0	45,399,160
給料手当	56,905,484	490,000	0	57,395,484
法定福利費	12,917,499	110,000	0	13,027,499
臨時雇賃金	2,291,061	0	0	2,291,061
福利厚生費	628,938	0	0	628,938
旅費交通費	4,782,466	0	0	4,782,466
会議費	73,736	0	0	73,736
通信運搬費	3,188,273	0	0	3,188,273
消耗品費	9,247,055	666,408	0	9,913,463
印刷製本費	2,717,056	0	0	2,717,056
修繕費	15,763,600	330,000	0	16,093,600
光熱水料費	65,909,090	1,470,000	0	67,379,090
燃料費	184,299	0	0	184,299
賃借料	11,693,731	180,000	0	11,873,731
保険料	825,659	0	0	825,659
諸謝金	13,055,192	0	0	13,055,192
手数料	1,730,699	283,378	0	2,014,077
租税公課	8,094,670	155,000	0	8,249,670
広告宣伝費	261,800	0	0	261,800
支払助成金	1,200,000	0	0	1,200,000
委託料	174,488,569	5,555,160	0	180,043,729
支払負担金	301,552	0	0	301,552
減価償却費	5,300,456	0	0	5,300,456
雑費	0	0	0	0
ソフトウェア関連	3,074,234	0	0	3,074,234
賞与引当金繰入	2,960,000	0	0	2,960,000

科 目	公益目的会計	収益事業等会計	法人会計	合計
管理費	0	0	3,383,054	3,383,054
報酬	0	0	0	0
役員報酬	0	0	663,800	663,800
給料手当	0	0	1,715,625	1,715,625
法定福利費	0	0	294,878	294,878
旅費交通費	0	0	60,520	60,520
会議費	0	0	5,000	5,000
通信運搬費	0	0	19,891	19,891
消耗品費	0	0	78,202	78,202
諸謝金	0	0	20,810	20,810
租税公課	0	0	600	600
支払負担金	0	0	144,000	144,000
委託料	0	0	37,728	37,728
賞与引当金繰入	0	0	342,000	342,000
返還金	6,370,201	0	585,081	6,955,282
国立市補助金返還金	11,351	0	585,081	596,432
事業費補助金返還金	11,351	0	585,081	596,432
国立市指定管理料返還金	6,265,109	0	0	6,265,109
芸術小ホール指定管理料返還金	4,395	0	0	4,395
郷土文化館指定管理料返還金	56,889	0	0	56,889
総合体育館指定管理料返還金	5,310,939	0	0	5,310,939
有料公園指定管理料返還金	892,886	0	0	892,886
国立市委託料返還金	93,741	0	0	93,741
市内遺跡整理調査業務受託事業費返還金	93,741	0	0	93,741
特保指導に伴う運動継続支援業務受託事業返還金	0	0	0	0
経常費用計	446,861,520	10,742,906	3,968,135	461,572,561
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	70,000	70,000
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	0	0	70,000	70,000
2. 経常外増減の部				0
(1) 経常外収益				0
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				0
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	0	0	70,000	70,000
法人税等	0	0	70,000	70,000
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0
一般正味財産期首残高	0	2,032,890	9,500,000	11,532,890
一般正味財産期末残高	0	2,032,890	9,500,000	11,532,890
II 指定正味財産増減の部				0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	312,545,668	0	0	312,545,668
指定正味財産期末残高	312,545,668	0	0	312,545,668
III 正味財産期末残高	312,545,668	2,032,890	9,500,000	324,078,558

# 正味財産増減計算書内訳表

2022年 4月 1日から2023年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的会計				収益事業等会計		法人会計	合計
	芸術文化事業費	郷土文化事業費	スポーツ・レクリエーション	小計	付帯サービス事業	施設管理運営	管理費	
Ⅰ 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	170,041	170,041	0	0	0	170,041
基本財産受取利息	0	0	170,041	170,041	0	0	0	170,041
定期預金受取利息	0	0	170,041	170,041	0	0	0	170,041
事業収益	103,002,972	59,966,430	214,470,455	377,439,857	1,045,152	9,640,000	0	388,125,009
自主・共催事業収益	13,417,622	775,339	7,974,999	22,167,942	0	0	0	22,167,942
国立市指定管理料収益	72,663,000	55,846,000	151,102,000	279,611,000	0	7,474,000	0	287,081,000
国立市受託料収益	0	2,000,000	5,636,000	7,636,000	0	0	0	7,636,000
利用料金収益	16,723,350	1,144,100	49,556,465	67,423,915	0	2,174,000	0	69,593,915
広告料収益	199,000	201,000	201,000	601,000	0	0	0	601,000
付帯サービス事業収益	0	0	0	0	1,045,152	0	0	1,045,152
受取補助金等	31,807,257	25,304,505	11,626,855	68,738,617	0	0	4,038,135	72,776,752
国立市補助金収益	25,690,505	25,304,505	11,626,855	62,621,865	0	0	4,038,135	66,660,000
国等助成金収入	6,065,052	0	0	6,065,052	0	0	0	6,065,052
受取民間助成金	51,700	0	0	51,700	0	0	0	51,700
受取寄付金	230,000	0	0	230,000	0	0	0	230,000
雑収益	42,180	17,704	223,121	283,005	57,754	0	0	340,759
受取利息	0	0	961	961	0	0	0	961
定期預金受取利息	0	0	592	592	0	0	0	592
普通預金受取利息	0	0	369	369	0	0	0	369
雑収入	42,180	17,704	222,160	282,044	57,754	0	0	339,798
経常収益計	135,082,409	85,288,639	226,490,472	446,861,520	1,102,906	9,640,000	4,038,135	461,642,561
(2) 経常費用				0				0
事業費	135,077,103	85,129,246	220,284,970	440,491,319	1,105,906	9,640,000	0	451,237,225
報酬	18,395,732	9,316,344	15,184,124	42,896,200	198,960	1,304,000	0	44,399,160
給料手当	13,780,638	25,701,118	17,423,728	56,905,484	0	490,000	0	57,395,484
法定福利費	3,899,476	5,129,128	3,888,895	12,917,499	0	110,000	0	13,027,499
臨時雇賃金	740,558	1,406,188	144,315	2,291,061	0	0	0	2,291,061
福利厚生費	201,024	178,724	249,190	628,938	0	0	0	628,938
旅費交通費	3,525,973	849,015	407,478	4,782,466	0	0	0	4,782,466
会議費	63,721	10,015	0	73,736	0	0	0	73,736
通信運搬費	1,302,937	932,273	953,063	3,188,273	0	0	0	3,188,273
消耗品費	1,811,888	1,794,889	5,640,278	9,247,055	354,408	312,000	0	9,913,463
印刷製本費	762,667	1,245,207	709,182	2,717,056	0	0	0	2,717,056
修繕費	1,481,830	2,127,373	12,154,397	15,763,600	0	330,000	0	16,093,600
光熱水料費	11,832,219	6,465,936	47,610,935	65,909,090	0	1,470,000	0	67,379,090
燃料費	0	20,361	155,938	184,299	0	0	0	184,299
賃借料	6,045,762	1,036,967	4,611,002	11,693,731	0	180,000	0	11,873,731
保険料	135,206	83,795	606,657	825,659	0	0	0	825,659
贈謝金	11,133,216	347,043	1,574,933	13,055,192	0	0	0	13,055,192
手数料	1,281,755	161,001	287,943	1,730,699	207,378	76,000	0	2,014,077
租税公課	2,067,797	1,658,609	4,368,264	8,094,670	50,000	105,000	0	8,249,670
広告宣伝費	261,800	0	0	261,800	0	0	0	261,800
支払助成金	397,000	399,000	404,000	1,200,000	0	0	0	1,200,000
委託料	53,328,338	21,803,447	99,356,784	174,488,569	292,160	5,263,000	0	180,043,729
支払負担金	88,567	58,267	156,718	301,552	0	0	0	301,552
減価償却費	0	2,522,256	2,778,200	5,300,456	0	0	0	5,300,456
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0
ソフトウェア関連	1,740,332	644,622	689,280	3,074,234	0	0	0	3,074,234
賞与引当金繰入	800,667	1,229,667	929,666	2,960,000	0	0	0	2,960,000

科 目	公益目的会計				収益事業等会計		法人会計	合計
	芸術文化事業費	郷土文化事業費	ｽﾎｰｸﾞﾘﾌﾞﾘｰｼﾞｮﾝ	小計	付帯サービス事業	施設管理運営	管理費	
管理費	0	0	0	0	0	0	3,383,054	3,383,054
報酬	0	0	0	0	0	0	0	0
役員報酬	0	0	0	0	0	0	663,800	663,800
給料手当	0	0	0	0	0	0	1,715,625	1,715,625
法定福利費	0	0	0	0	0	0	294,878	294,878
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	60,520	60,520
会議費	0	0	0	0	0	0	5,000	5,000
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	19,891	19,891
消耗品費	0	0	0	0	0	0	78,202	78,202
贈謝金	0	0	0	0	0	0	20,810	20,810
租税公課	0	0	0	0	0	0	600	600
支払負担金	0	0	0	0	0	0	144,000	144,000
委託料	0	0	0	0	0	0	37,728	37,728
賞与引当金繰入	0	0	0	0	0	0	342,000	342,000
返還金	5,306	159,393	6,295,502	6,370,201	0	0	585,081	6,955,282
国立市補助金返還金	911	8,763	1,677	11,351	0	0	585,081	596,432
事業費補助金返還金	911	8,763	1,677	11,351	0	0	0	11,351
管理費補助金返還金	0	0	0	0	0	0	585,081	585,081
国立市指定管理料返還金	4,395	56,889	6,203,825	6,265,109	0	0	0	6,265,109
芸術小・中指定管理料返還金	4,395	0	0	4,395	0	0	0	4,395
郷土文化館指定管理料返還金	0	56,889	0	56,889	0	0	0	56,889
総合体育館指定管理料返還金	0	0	5,310,939	5,310,939	0	0	0	5,310,939
有料公園指定管理料返還金	0	0	892,886	892,886	0	0	0	892,886
国立市委託料返還金	0	93,741	0	93,741	0	0	0	93,741
市内通財整理調査業務受託事業費返還金	0	93,741	0	93,741	0	0	0	93,741
特保指導に伴う運動継続支援業務受託事業返	0	0	0	0	0	0	0	0
経常費用計	135,082,409	85,288,639	226,490,472	446,861,520	1,102,906	9,640,000	3,968,135	461,572,561
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	70,000	70,000
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	70,000	70,000
2. 経常外増減の部				0				0
(1) 経常外収益				0				0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用				0				0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	70,000	70,000
税引前当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	70,000	70,000
法人税等	0	0	0	0	0	0	70,000	70,000
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	2,032,890	0	9,500,000	11,532,890
一般正味財産期末残高	0	0	0	0	2,032,890	0	9,500,000	11,532,890
II 指定正味財産増減の部				0				0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	110,295,689	92,248,979	110,000,000	312,545,668	0	0	0	312,545,668
指定正味財産期末残高	110,295,689	92,248,979	110,000,000	312,545,668	0	0	0	312,545,668
III 正味財産期末残高	110,295,689	92,248,979	110,000,000	312,545,668	2,032,890	0	9,500,000	324,078,558

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
販売品は、最終仕入れ原価法に基づく原価方式を採用している。
- (2) 固定資産の減価償却の方法  
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産  
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。
- (3) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式による。消費税については、中間納付及び確定申告分を納付した日の所属する会計年度に計上している。
- (4) 国立市からの補助金収入及び指定管理料等収入は、積算根拠に基づき、対象事業費を精査する。  
ア 国立市から交付を受けた補助金と事業年度中に発生した補助金対象経費との差額は、必要に応じて一定額を次期繰越金収支差額とし、その他は、返還する。  
イ 国立市からの指定管理料収入と事業年度中に発生した指定管理事業費との差額は、返還する。  
ウ 国立市からの受託事業委託料収入と事業年度中に発生した受託事業費との差額は、返還する。

### 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
<b>基本財産</b>				
定期預金	312,249,979	0	0	312,249,979
小 計	312,249,979	0	0	312,249,979
<b>特定資産</b>				
くにたちアート ビエンナーレ 事業預金	295,689	0	0	295,689
小 計	295,689	0	0	295,689
合 計	312,545,668	0	0	312,545,668

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	うち指定正味財 産からの充当額	うち一般正味財 産からの充当額	うち負債に 対応する額
基本財産				
定期預金	312,249,979	312,249,979		
小 計	312,249,979	312,249,979		
特定資産				
くにたちアート ビエンナーレ 事業預金	295,689	295,689		
小 計	295,689	295,689		
合 計	312,545,668	312,545,668		

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

リース資産科目の物件	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
OA 機器および収蔵品 管理システム	12,611,280	7,566,768	5,044,512
ワゴン車	3,965,024	3,965,024	0
総合体育館ラットプル ダウン他一式	13,413,600	10,060,200	3,353,400
合 計	29,989,904	21,591,992	8,397,912

- 5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高  
 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対 照表上
補助金						
管理費 補助金	国立市	0	4,038,135	4,038,135	0	
事業費 補助金	国立市	0	62,621,865	62,621,865	0	
助成金						
事業費 助成金	国等	0	6,065,052	6,065,052	0	
事業費 助成金	民間	0	51,700	51,700	0	



付属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

(単位:円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金(大和ネクスト銀行)	112,249,979	0	0	112,249,979
	定期預金(JA東京みどり)	200,000,000	0	0	200,000,000
	基本財産計	312,249,979	0	0	312,249,979
特定資産	くにたちアートビエンナーレ事業預金 (多摩信用金庫/国立)	295,689	0	0	295,689
	特定資産計	295,689	0	0	295,689

# 財産目録

2023年 3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>				
	現金	手持現金	運転資金として保有している	102,428
		釣銭現金		540,000
	預金	普通預金		28,977,686
		多摩信 国立支店	運転資金として保有している	26,453,357
		多摩信 国立支店	運転資金として保有している	407,305
		(基本財産口)		
		多摩信 国立支店	運転資金として保有している	1,149
		(ビエナーレ口)		
		ゆうちょ銀行	運転資金として保有している	1,778,214
		JA東京みどり	運転資金として保有している	337,661
	定期預金		30,000,000	
	多摩信 国立支店	運転資金として保有している	30,000,000	
未収金	3月分利用料金等	利用料金、グッズ代金等	487,166	
前払金	5、6月分チラシ印刷代等	公益目的事業用チラシ印刷代金等	426,450	
販売品	収益事業の棚卸資産	収益事業用の在庫	1,148,560	
貯蔵品			25,150	
<b>流動資産合計</b>				<b>61,707,440</b>
<b>(固定資産)</b>				
<b>基本財産</b>				
	預金	定期預金		312,249,979
		大和初社銀行	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	112,249,979
		JA東京みどり	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	200,000,000
		国立支店		
<b>特定資産</b>				
	預金	定期預金	くにたちアートビエンナーレ事業預金	295,689
		多摩信用金庫		295,689
		国立支店		
		*ビエナーレ口に預入		
<b>その他固定資産</b>				
	リース資産	郷土文化館OA機器	公益目的保有財産で、公益目的事業に使用	8,493,392
		郷土文化館車両		
		体育館トレーニング 機器		
		体育館ラップマシン		
<b>固定資産合計</b>				<b>321,039,060</b>
<b>資産合計</b>				<b>382,746,500</b>
<b>(流動負債)</b>				
	未払金	嘱託報酬等の未払金	嘱託報酬等の未払金	44,105,167
	前受金	事業に対応するカット代	次年度事業参加費収入などの前受収入	2,120,000
		収入等		
	預り金	職員	社会保険料、所得税源泉徴収金等の預り金	647,383
	健康保険料			34,199
	厚生年金			56,634
	雇用保険料			322,719
	源泉所得税			162,807
	事業源泉所得税			71,024
	賞与引当金		固有職員嘱託員夏期賞与引当金	3,302,000
<b>流動負債合計</b>				<b>50,174,550</b>
<b>(固定負債)</b>				
	リース債務	郷土文化館OA機器	公益目的保有財産で、公益目的事業に使用	8,493,392
		郷土文化館車両		
		体育館トレーニング 機		
		体育館ラップマシン		
<b>固定負債合計</b>				<b>8,493,392</b>
<b>負債合計</b>				<b>58,667,942</b>
<b>正味財産</b>				<b>324,078,558</b>

2023年5月8日

## 監査報告書

公益財団法人 くにたち文化・スポーツ振興財団  
代表理事 竹内光博様

監事 佐藤収一

監事 木村淳二

私たち監事は、2022年4月1日から2023年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。

その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

### 1 監査の方法及びその内容

各監事は理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその付属明細書について検討いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその付属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

### 2 監査意見

#### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

#### (2) 計算書類及びその付属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその付属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。



2023年度

# 事業計画書

公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団

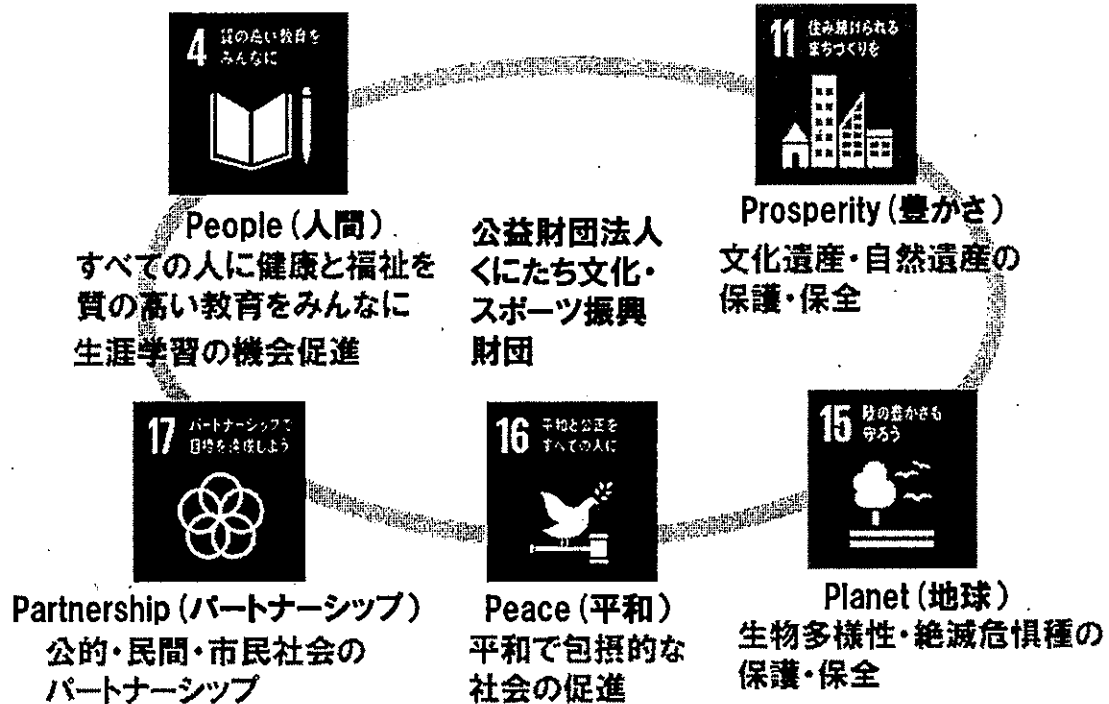
## 事業体系

### くにたち文化・スポーツ振興財団の事業とSDGsとの関係

事業計画の概要	( 1 )
I. 公益事業	( 2 )
1. 芸術小ホール	( 2 )
2. 郷土文化館	( 5 )
3. 総合体育館	( 7 )
4. 共通公益事業（総務課）	( 9 )
5. 指定管理事業（各館共通）	( 9 )
II. 収益事業等	( 10 )
1. 付帯サービス事業	( 10 )
2. その他の事業	( 10 )
III. 管理（法人管理事業）	( 10 )
1. 役員及び役員会等に関する事業	( 10 )
事業計画の内訳（自主・共催事業）	( 11 )
1. 市民の芸術文化振興の企画と実施事業	( 11 )
2. 郷土に関する文化の伝承と振興事業	( 15 )
3. 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業	( 19 )

## くにたち文化・スポーツ振興財団の事業とSDGsとの関係

### SDGs 関連図



SDGs は大きく「5つのP」に分けることができます。これは People (人間)、Prosperity (豊かさ)、Planet (地球)、Peace (平和)、Partnership (パートナーシップ) の頭文字をとったものを意味し、これらをさらに細分化したものが17のゴールです。

当財団の事業とのかかわりで見ると「すべての人に健康と福祉を」「質の高い教育をみんなに提供し、生涯学習の機会促進」「文化遺産及び自然遺産の保護、保全」「生物多様性・絶滅危惧種の保護・保全」「平和で包摂的な社会の促進」「公的、民間、市民社会のパートナーシップ活性化」などがあり、改めて今まで行ってきた各館の事業などがSDGs とかかわっていたことがわかります。

また、国立市では次の10年に向けて、総合的な「健康まちづくり戦略」として ①つながりのあるまち ②楽しく喜びにあふれるウォーカブルなまち ③豊かな食と文化を志向するまちの3点を目指すべき方向性として挙げています。

今後もこれらのことを意識して、市と関連する機関との連携を深め、目標達成に向けて取り組んでいきます。

## 事業計画の概要

公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団は、設立時の基本理念を念頭に、定款に掲げた文化・スポーツ事業等を企画実施し、市民の文化、健康の向上を図り、地域社会の発展と豊かな市民生活の形成に寄与する目的達成に努めます。

この目的を達成するため、

- 市民の芸術文化振興の企画と実施事業(定款第4条第1号)
- 郷土に関する文化の伝承と振興事業(定款第4条第2号)
- 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業(定款第4条第3号)
- 市民の自主的な文化・スポーツ活動の奨励及び団体の育成事業(定款第4条第4号)
- 市より受託する文化・スポーツ及び健康増進事業(定款第4条第5号)
- 市より受託する施設の管理運営事業(定款第4条第6号)

などの事業を実施します。

当財団は、国立市との連携により、市民芸術小ホール及び郷土文化館を核として、国立市に文化が香るまちづくりを推進させるために芸術文化施策を充実させ、長期的視野に立って芸術を育む良質の土壌を作ります。また、市民総合体育館を核として、市民の多種多様なスポーツ・レクリエーションのニーズに対応し、体力の向上や心身の健康の保持・増進、余暇の充実を図ってまいります。

また、国立市がくにたち子どもの夢・未来事業団の活動拠点となる「矢川プラス」を立ち上げることから、これを契機として市内にある当該事業団、社会福祉協議会、当財団が連携・協働し、国立市が掲げる「市民一人ひとりのウェルビーイングを支えるまちづくり」を目指して取り組んでまいります。



## Ⅰ 公益事業

### 1 芸術小ホール

#### 基本方針

芸術小ホールは、多摩地区最小の公立複合文化施設として開館しました。コンパクトながら劇場機能を満たす施設・設備と人的体制を備えています。市民が自ら芸術文化に親しみ交流・発信する環境を整える貸館事業と、芸術の創造や継承、普及を行う自主事業とによって、地域の芸術文化振興に寄与する役割を果たしていきます。

また当館活動には様々な立場・状況にある市民の存在が重要であると認識し、「ダイバーシティ」「インクルージョン」の実践に努め、SDGsの目標実現を目指します。

#### 2023年度の運営概略

##### 1. 芸術文化を身近なものにしつつ、本物に触れる場となる

地域のホールとして、市民が芸術文化に親しむ機会と場の提供を行う施設であることを改めて周知し、「鑑賞」「参加体験」で可能な限り広範なジャンルかつ質が高い事業を提供します。

芸術文化への親しみ度合いや興味が様々な市民に対し、高い芸術性を持つ出演者、ワークショップ等の経験値が豊富な講師を起用することで、親しみやすくも優れた芸術との邂逅の場としての存在感を強化します。

##### 2. ポストコロナ時代に芸術文化を活かす

新型コロナウイルスの蔓延がいまだ続く中、分断されがちとなった人と人との再び集いともに楽しむ環境を芸術文化が担えると考え、感染対策に努めつつ事業を積極的に実施します。また、芸術活動を生業とするアーティスト等へ活動機会を提供することも公立文化施設の役割のひとつと捉え、彼らの能力を活かし市民・施設も一体となって、事業を通じコロナ後にあるべき地域ホールの姿を追求していきます。

##### 3. 様々な立場の市民を対象に

市や市内関係施設と協力し、乳幼児とその保護者や高齢者、しょうがいしゃ、外国人、ひきこもりなど様々な市民に芸術の喜びを伝える事業を展開します。

SDGs「3. すべての人に健康と福祉を」「4. 質の高い教育をみんなに」を中心にアウトリーチ手法や市民が互いに学び合う機会を積極的に取り入れ、これまで事業に関わりづらかった市民とできる限り接点を持つことを目指します。

##### 4. クリエイション(創造)への取り組み

ホール・劇場の主要な機能である芸術性の追求により一層努めます。小ホールのサイズ感や可変

式舞台という物理的形狀を活かすとともに、アーティストや市民参加者に寄り添った企画運営で芸術の真髄である「創造」に積極的に取り組み、周辺公共ホールとの差異化を行うとともに制作力ある施設を目指します。

またそれにより芸術小ホールの名前を広め、一般市民や芸術関係者からの注目を集めることで施設利用の活性や事業の充実につなげます。

## 5. 芸術活動促進に向けて

○ ツイッター、メールマガジン、動画配信サイト Youtube の活用を継続して進め広報業務の充実を図ります。

○ 積極的に外部助成金申請を行い、また芸術家・芸術団体等との連携でより芸術的価値とスケール感のある事業を手掛けます。

### (1) 芸術環境創造事業

#### ア 教育、福祉、まちづくり連携による地域貢献事業

地域芸術団体、学校、アーティスト等とともに、芸術文化活動が身近に感じられる環境をつくれます。市や市内関係施設との連携を強化しながら、芸小事業の実施、広報を進めます。

具体的な事業として「くにたちアートプロジェクト」「新・放課後ダイバーシティダンス」等により、ターゲットとなる層を段階的に取り込むよう推進します。

#### イ 学校教育との連携事業

地域の学校と連携し、その資質を活かした事業を行います。また子どもたち対象の事業を芸術に触れる機会を均等に設けることをねらいとして市内小学校で展開します。

具体的な事業として国立音大連携「くにたちデビューコンサート」、「公共ホール音楽活性化支援事業（アウトリーチ、公演）」を開催します。

#### ウ 地域の芸術文化資源を活用したまなび事業

市民が芸術分野での講座講師を務め、その活動を通じてコミュニティの創成を狙う「市民一芸塾」、くにたちアートビエンナーレ受賞作家の個展を開催します。

### (2) 芸術振興事業

#### ア 芸術文化の創造事業

「創造ができるホール」としての地位獲得をひきつづき目指します。そのために、各ジャンルの第一線で活躍するアーティストを起用し内容の充実とより高いクオリティーを追求します。また市民参加を主要な柱とし、体験、交流を含めた作品への出演はもちろん、鑑賞者としても幅広くできる限り多くの客層から参加が可能となる企画を行うことで芸小ホールの特徴を確立します。

具体的には多和田葉子氏との企画シリーズにおける市民参加演劇公演実施、赤ちゃんから楽しめる舞台作品の創作、芸小創作作品の国内巡回公演実施等を図ります。

これら事業については外部助成金獲得を目指し活用していきます。

#### イ 芸術文化の継承事業

クラシック音楽、伝承芸能などの分野における優れた舞台を市民に提供しその継承と普及に努めます。

毎年開催の（公財）東京都歴史文化財団 東京文化会館共催「フレッシュ名曲コンサート」や各種落語事業ほか、共催形式により予算効率化を図るくにたち市民オーケストラ「ニューイヤークンサート」、世界的な活動を行う太鼓芸能集団鼓童「地域交流コンサート」等を行います。また新規事業として、当館ではあまり取り組まれていない伝統芸能との接点をつくる「伝統芸能講座」を開設します。

#### ウ 芸術文化の交流・支援事業

スタジオのサイズ感を活かした芸小定番の人気事業「スタジオコンサート」「すたじお寄席」を継続実施します。演者との距離感を縮め市民がより親しみを感じることで若手の育成や芸術普及へとつなげます。

#### エ 創客・利用拡大事業

誰もが気軽に舞台芸術に触れる機会となる公益事業として無料の「ランチタイムコンサート、ランチタイムステージ」等の定期開催、およびホール利用の空き日を活用した「ホールとグランドピアノのシェアプログラム」を継続し、ホール活用の促進を図ります。

### (3) その他

#### ア 自主事業、連携事業企画調査

事業運営能力、接遇の向上をめざし研修参加等の機会を設けるとともに職員間の標準化を図っていきます。

#### イ 実行委員会参画事業

共催事業としてファミリーフェスティバル、実行委員会形式で運営するくにたち音楽祭、国立市吹奏楽フェスティバルなど地域に根付いた活動を継続します。くにたちギャラリーネットワークとの連携事業も推進していきます。

各市民芸術団体の交流と活動の自立を目指し、市民による芸術文化活動の充実を支えていきます。

## 2 郷土文化館

### 基本方針

郷土文化館は、下図にあるメインテーマを運営の基本理念として、各種事業を展開してきました。この理念は国連のSDGsに通ずるもので、今後もこの理念を尊重しつつ社会の要請や地域の変化を視野に入れた運営を推し進めます。そのため、主催事業は計画的に実施し、とりわけ専門職員としての学芸員はその専門性を高め、より地域に貢献する郷土文化館を目指します。また、参画／協働型の運営を拡充し、収集、保存、調査研究、普及、展示等に市民力が発揮できる機会を確保します。これらの目的達成のために、以下の課題に取り組んでいきます。

### 2023年度の運営概略

郷土文化館では、SDGs目標4「質の高い教育をみんなに、生涯学習の機会促進」、目標11-ターゲット4「文化遺産及び自然遺産の保護、保全」、目標15-ターゲット5「生物多様性の保全、絶滅危惧種の保護」、目標17-ターゲット17「公的、民間、市民社会のパートナーシップ活性化」の達成に向けて、博物館類似施設として、「過去・現在・未来を結ぶ」をメインテーマとし、有形・無形の地域文化遺産の継承、現世代への教育と未来社会への貢献を目指します。資料保存機関としての機能を生かしつつ、近代博物館の来館者重視の流れを受け、さまざまな企画展示及び企画事業を通じて、地域の人々の生涯学習の拠点としての資料の公開、及び普及活動を展開します。産官学連携での各種活動を展開し、教育の対象を来館者だけでなくアウトリーチとして学校も含めた市中に広げていきます。また、自然環境に恵まれた立地条件を生かし、生物多様性の保全を意識しながら自然系の事業を推進します。

2022年度は、新型コロナウイルス感染の収束を前提として、従前通り事業計画を策定しましたが、感染再拡大防止のため個々の事業において中止、規模の縮小等の対応を行いました。2023年度も従前通り事業計画を策定します。

### (1) 郷土の歴史、民俗及び自然環境等に関する資料の収集、保存、調査研究、教育支援のための事業

ア ハケ、里山を、地域の資源ととらえ、保全と共生のためのプログラムを組みます。

① 城山の里山づくり・里人会議の会員と情報を共有し、観察事業、保全事業を展開します。

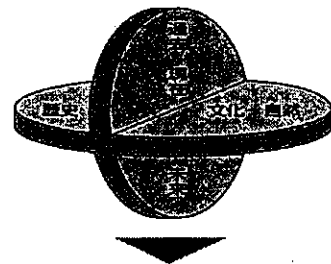
イ 「城山さとのいえ」との協力・連携を進めます。

① 古民家伝統行事（鯉のぼり、七夕飾り、ひし餅、まゆ玉、十五夜だんごなど）の事業を推進します。

ウ 国立市観光まちづくり協会等と連携し、古民家の多角的な利用及び、旧国立駅舎を活用し、有形文化財への理解と関心を深めます。

① 見学者への対応に加え、集会や事業のための有効利用を図ります。

エ 国立市内の有形・無形の文化遺産を市民が誇りと愛情を持てるよう活用します。



- 過去・現在・未来を結ぶ
- 歴史・文化・自然の調和
- 人との、人と人との出会い
- 驚き・不思議さ・おもしろさ
- 文教都市くにたちの象徴

メインテーマ

過去・現在・未来を結ぶ  
—多摩川が育んだ段丘とともに生きる私たち—  
(ハケ)

- ① 伝承者の高齢化が進む中、地域の無形文化遺産（慣習・知識など）を計画的に引継ぎ、後世に継承します。
- ② 国立市所蔵資料を随時紹介します。
- ③ 自然環境を含む地域文化の理解を深めるため地域歩き事業を展開します。

## (2) 市民が参加及び体験する事業

### －産官学の連携による、まちぐるみ創造空間の演出参加－

- ア 歴史、文化の継承拠点として、それを支える団体・サークルとの協力体制を引き続き維持します。
  - ① 歴史系、民俗系、自然系、創作の団体・サークルの活動を支援する中で、事業を展開し、団体・サークルの相互理解と地域への拡散を図ります。
- イ 包括連携協定を締結している大学等との協働事業を展開します。
  - ① 学習会、講演会等への講師派遣や資料提供依頼を拡充します。
- ウ 出前講座、課外学習会等、学校教育への積極支援を行います。
  - ① 伝統文化や生活誌を、分かりやすく伝える機会をつくります。
  - ② 民具資料を紹介し、体験学習等で活用を図ります。
- エ 国立市所蔵資料の市民（団体、個人）への情報提供を推進します。
  - ① 国立市所蔵資料を適宜市民に公開します。
- オ 社会教育機関や行政との連携を促進します。
  - ① 展示事業、調査研究事業において、公民館、図書館等の社会教育機関や一般行政組織と連携し、市内全域でくにたちの過去、現在、未来を学び、考える機会を創出します。

## (3) 行政の事務事業及び生涯学習活動の支援

- ア 公共施設予約システムについて、利用者の視点で検証します。
  - ① デジタルデバイドへの丁寧な対応と公平性を確保します。
- イ 行政から移管された資料の整理を促進します。
  - ① 広報担当撮影写真のデジタル化を推進し、ウェブ上で公開します。
  - ② 関連した企画展を開催し、今後のまちづくりを考える機会を提供します。
- ウ 資料研究室の内容充実と利用促進を図ります。
  - ① 地域資料の提供及び生涯学習の支援に、より一層資するため、資料研究室における登録書籍及び配架設備の充実を図ります。
- エ 講座事業、オンライン発信を充実させます。
  - ① 企画展示に関連した講座を充実させると共に、各種オンライン発信を強化し、より多くの人々が広く深く学習できる機会を提供します。
- オ 文化財行政、社会教育行政との連携を促進します。
  - ① 常設展示室を中心として、展示資料の見直しを図り、最新ICT技術を活用した新たな展示解説の方法の検討などを行います。
- カ 指定管理事業の内容を精査し、いっそうの効率化を図ります。
  - ① ミュージアムグッズの在庫管理を徹底し、販路の拡大を模索します。
  - ② ホームページを充実し、郷土文化館の機能、所蔵資料紹介を掲載します。
  - ③ 旧国立駅舎において、郷土文化館グッズ等の販売を促進します。

## (4) 市内遺跡整理調査業務受託事業

- ア 市内遺跡調査の整理、報告書の作成業務を受託し、文化財保護の普及に寄与します。

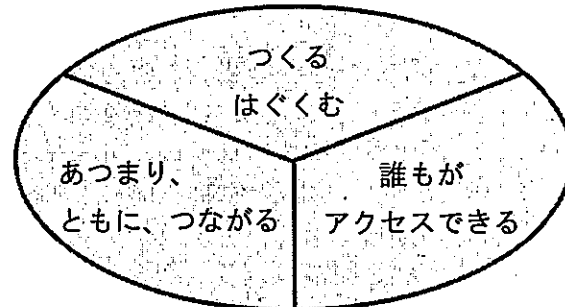
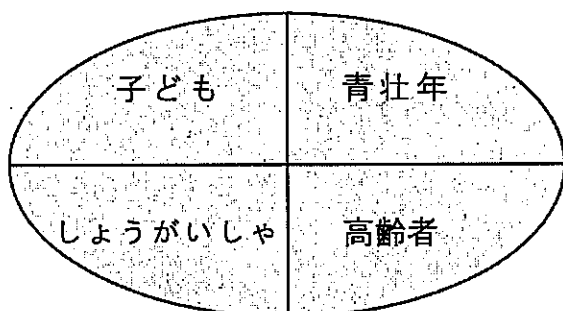
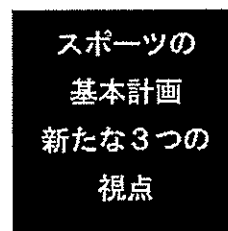
### 3 総合体育館

#### 基本方針

国連のSDGsにおいて「スポーツは持続可能な開発における重要な鍵となるものである」とし必要不可欠なものとしています。

スポーツ庁では、第3期スポーツ基本計画（2022年度～2026年度）において国民が「する」「みる」「ささえる」ことを真に実現できる社会を目指すため、「新たな3つの視点」が必要になると考えられるとしています。

総合体育館では、誰もがスポーツの楽しさや喜びを味わい、さらに人々と共有することで、健康的な生活が送れるよう事業を展開していきます。



#### 第3期スポーツ基本計画（スポーツ庁）における新たな3つの視点

##### 1. 「つくる/はぐくむ」

社会の変化や状況に応じて、既存の仕組みにとらわれずに柔軟に見直し・改善し、最適な手法・ルールを考え、作り出す。

##### 2. 「あつまり、ともに、つながる」

様々な立場・背景・特性を有した人・組織があつまり、課題の対応や活動の実施を図る。

##### 3. 「誰もがアクセスできる」

性別や年齢、障害、経済・地域事情等の違いによって、スポーツ活動の開始や継続に差が生じないような社会の実現や機運の醸成を図る。

## 2023年度の運営概略

1. 健康づくりのスポーツ事業の充実を図ります。
2. スポーツ及びレクリエーションの普及事業の充実を図ります。
3. 親と子どものスポーツ体験事業の充実を図ります。
4. 小中学生スポーツ体験事業の充実を図ります。
5. 共催事業の充実を図ります。
6. 関係機関との連携を図ります。

### (1) スポーツ及びレクリエーション事業

#### ア 健康づくりのスポーツ事業の充実

スポーツを通じた健康増進や誰もがスポーツに親しむことができる環境づくりが健康的な生活を確保し福祉を推進することにつながります。現在ある事業の充実を図るとともに、誰でも気軽に参加できる事業の検討を行います。

また、高齢者が外に出る機会を増やすため、申し込み不要でいつでも参加できるインターバル速歩のさらなる充実を図るとともに新たな高齢者向けの事業の検討を行います。

#### イ スポーツ及びレクリエーションの普及事業の充実

スポーツを「する」「みる」「ささえる」という様々な形での自発的な参画を通して、楽しさ

や喜びを感じられるよう、特に、「みる」という観点から得られる感動や応援を通しての選手と観客の一体感が得られるよう事業の検討を行います。

#### ウ 親と子どものスポーツ体験事業の充実

幼児期の子どもから運動やスポーツの機会を与えることは、発達段階において非常に重要です。子どもの運動・遊びの機会の充実を図ります。

#### エ 小中学生のスポーツ体験事業の充実

新型コロナウイルスの感染拡大によって、児童生徒を取り巻く環境が一変した結果、子どもの体力レベルの低下傾向が明らかです。運動やスポーツをする機会の充実を図ります。

#### オ 共催事業の充実

国立市体育協会とは「ファミリーフェスティバル」「くにたちウォーキング」「スポーツ講演会」の3事業を共催しており、さらなる充実を図ります。

また、国立市とは、「小学生初心者水泳教室」の事業を共催しており、低学年から高学年まで泳ぎの苦手な人が泳げるように事業の充実を図ります。

#### カ 関係機関との連携

国立市体育協会をはじめ東京女子体育大学、一橋大学、総合型地域スポーツクラブ(くにたちエール)等との連携強化を図ります。特にくにたちエールとは、お互いの事業の棲み分け等について検討します。また、しょうがいしゃスポーツを推進・支援するために、東京都等が主催するしょうがいしゃスポーツ関連の講習会・セミナー等の会場を提供し、より多くの市民への理解が深められるよう目指します。

## (2) 学校開放受付業務受託事業

国立市から国立市立小・中学校の施設開放事業に係る受付事務を受託し、市民がスポーツをする場の提供を行い、利便性の向上を図ります。

## (3) 特定保健指導における運動継続支援業務受託事業

国立市から国民健康保険が実施する特定保健指導における運動継続支援業務を受託し、市民の健康増進に寄与します。特に特定保健指導終了後も参加者が継続して運動できるよう努めます。

## 4 共通公益事業(総務課)

### 1. 市民の自主的な文化・スポーツ活動の奨励及び団体の育成事業(定款第4条第4号)

国立市の芸術、文化、スポーツの振興に寄与すると認められる市民団体等に対して、その事業に必要な費用の一部を助成し、市民の芸術、文化、スポーツ活動のより一層の振興を図っていきます。

### 2. 公益財団広報紙「オアシス」の発行等事業(定款第4条第7号)

市民向けに公益財団広報紙「オアシス」を発行します。その内容をホームページに掲載し市内外にも情報を発信していきます。

### 3. 指定管理事務

各館の指定管理事業に係る予算編成、予算執行管理等を適正に行います。

## 5 指定管理事業(各館共通)(定款第4条第6号)

当財団が管理運営する市民芸術小ホール、郷土文化館、市民総合体育館の施設・設備の老朽化が進み、補修や更新の頻度が高まっているため、利用者の安全と施設利用の要望に一層配慮しつつ、施設の維持管理に努めていきます。

### 1. それぞれの施設の目的・特徴を活かし、施設のより効率的な運営と公平な市民サービス向上に努めます。

- ・嘱託員の一層の接遇を含めた資質向上に努めます。
- ・専門員の専門性を高めるために研修を積み、施設としての役割を十分に果たすとともに広範な市民のニーズに応えられるよう努力します。
- ・国立市の推薦に基づいて採用された固有職員を除き、財団独自で雇用した固有職員の処遇の改善を実施します。

### 2. 市民の自発的な諸活動を支える施設の運営、設備の整備に努めます。



## II. 収益事業等

施設利用者の利便性を考慮し、各施設における需要に応えたサービス事業を行います。

### 1 付帯サービス事業(定款第4条第2項)

- (1) チケット販売事業(くにたち市民芸術小ホール)
- (2) 飲料水等販売事業(くにたち郷土文化館・くにたち市民芸術小ホール)
- (3) グッズ等販売事業(くにたち郷土文化館)
- (4) 体育用品の販売事業(くにたち市民総合体育館)

### 2 その他の事業

- (1) 公益事業外の施設貸与事業

## III. 管理(法人管理事業)

### 1 役員及び役員会等に関する事業 (定款第4条第7号)

#### (1) 理事、監事及び評議員の任期

- ア 評議員 2019年5月30日から就任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
- イ 理事 2021年5月31日から就任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
- ウ 監事 2019年5月30日から就任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

#### (2) 理事会等の開催

- ア 理事会 年3回
- イ 評議員会 年3回
- ウ 決算監査、中間監査 各1回

## 事業計画の内訳（自主・共催事業）

### 1 市民の芸術文化振興の企画と実施事業（定款第4条第1号）

[芸術文化事業]

#### (1) 芸術環境創造事業

##### ①教育、福祉、まちづくり連携による地域貢献事業

計画事業 通し番号	計		
	事業名	開催形態	実施月
○ 1	芸術文化で地域と福祉をつなぐライフステージ事業 にじゅうまるシアター（各1回×2公演）	自主	7月、1月
○ 2	新・放課後ダイバーシティダンス	自主	通年
● 3	誰もが楽しめるジャズコンサート（2回）	自主	未定
● 4	くにたちアートプロジェクト事業	共催	通年

##### ②学校教育との連携事業

5	【国立音大連携事業】 くにたちデビューコンサートvol. 16	自主	後期
6	【市内学校等との連携事業】 公共ホール音楽活性化支援事業『アーティスト未定』 （コンサート1回、アウトリーチ4回）	共催	後期
7	三中OB吹奏楽団 創立30周年記念公演	共催	12月

##### ③地域の芸術文化資源を活用した学び・体験事業

8	市民一芸塾（2回）	自主	秋・冬
9	野外彫刻展受賞者個展	自主	後期

#### (2) 芸術振興事業

##### ①芸術文化の創造事業

10	inc. percussion days 2023（講演、コンサート、WS 等）	自主	8月
11	鼓童 交流公演2023	共催	9月
● 12	多和田葉子 複数の私vol. 06 市民参加劇『夜ヒカル鶴の仮面』	自主	8月～11月
● 13	芸小ステージクリエイションシリーズV『海のツブ』	自主	6月、10月
14	文化庁巡回公演事業 「音楽会 太陽のタネ」	自主	8月、12月
15	くにたちオペラ「あの町は今日もお祭り」伝承事業 日本演劇学会発表	自主	未定

画		
事業内容及び説明	支出	SDGs関連
舞台芸術に親しむ公演として、たちかわ創造舎を拠点とする劇団のファミリー向けレパートリーを上演します。文化庁「アートキャラバン事業」助成申請予定。	3,760	目標3,4
現代ダンスによる地域のダンス・踊りを中心とした関係者とともに主に子どもを対象としたワークショップを複数回行います。それによりアフターコロナ時代の新たなコミュニティ創成を目指します。アーツカウンシル東京「東京芸術文化創造発信助成」申請予定。		目標3,4
2021年度に始まった企画。誰でも楽しめるジャズコンサート。地域で音楽を気軽に楽しめる機会を提供します。		目標3,4
アーツカウンシル東京や国立市、一般社団法人ACKTと連携し、事業コーディネート体制づくり、拠点形成、リサーチ・発信事業を進めていきます。		目標3,4

国立音楽大学の協力でこれからの音楽芸術を担う若手音楽家に発表の機会を与える育成支援事業を行います。公演が稀有なコンピュータ音楽に取り組み新たな観客層の開拓に挑みます。	1,545	目標4
音楽家による地域でのアウトリーチを4回以上、ホールでの演奏会を1回行い、ホールの活性化と音楽分野における創造的な芸術環境づくりを目指します。(一財)地域創造共催。		目標3,4
当ホールの事業でもたびたび活動を行っている市内の吹奏楽団の周年記念として財団共催とします。吹奏楽団との共催であるが施設(ホール他)利用料の収益あり。		目標17

地域の専門家を講師として招聘して、市民向けに造形や実演の文化芸術講座を開催します。	206	目標3,4
【入場無料】くにたちアートビエンナーレ野外彫刻展で受賞した作家の作品を展示する個展を開催します。		目標4

【一部入場無料】世界的打楽器奏者の加藤訓子氏主宰による若手演奏家育成プロジェクト、演奏会や展示など複数のイベントを実施します。共催とし、チケット販売額の10%を当館収入とします。	6,905	目標3,4
現代和太鼓アンサンブルの音楽を築いたリーディングカンパニー鼓童若手奏者による地域交流公演を行います。チケット販売額の10%を当館収入とします。		目標3,4
国立市出身の世界的小説家・多和田葉子による戯曲を、市民出演で演劇上演します。芸術文化振興基の助成申請(申請予定額1,000,000円)を予定しています。		目標3,4,10
小学生を主たる対象と大人も楽しめる舞台作品を創作します。2024年度以降の文化庁巡回公演への応募作品とします。全国税理士共栄会の助成申請(申請予定額500,000円)を予定しています。		目標4
2022年度芸小創作の音楽劇「太陽のタネ」を文化庁巡回公演事業として実施します。国内のへき地・離島等数か所を巡回し、公演とワークショップを行います。		目標3,4
2022年度制作のオペラを普及させるため、日本演劇学会でのシンポジウム発表を目指します。採用された場合、近畿大学で実施される同学会に担当が参加・発表と資料配布等を行います。		目標3,4,10

②芸術文化の継承事業

	16	フレッシュ名曲コンサート（室内楽）	共催	9月
○	17	【夏休み子ども向け企画】 こども寄席（小学生、中高生 2コース）	自主	7月
	18	くにたち市民オーケストラ 2024年ニューイヤーコンサート	共催	1月
●	19	①伝統芸能講座「（ジャンル未定）」 ②地域の伝承芸能事業	自主	未定
●	20	国立新書「芸小ホール35年の歩み（仮）」	共催	通年

③芸術文化の交流・支援事業

	21	スタジオコンサート（3回） vol. 107～vol. 109	自主	4・5・6・後期
	22	くにたちすたじお寄席 52-54回	自主	6・9・3月
●	23	ケイコ・ボルジェソン ライブ！	自主	4月
○	24	ランチタイムコンサート・ランチタイムステージ（10回）	自主	8月・12月を除く毎月
○		イブニング・コンサート（2回）	自主	8月・12月
	25	ホールとグランドピアノのシェアプログラム （8回）	自主	通年

(3) その他

①自主事業、連携事業企画調査

	26	スタッフ：ディベロップメント事業	自主	通年
	27	地域連携、公文協、地域創造等連携交流事業	自主	通年
	28	その他事業（オアシス、助成、観まちバナー広告、消火栓広告、くにたちポイント）	自主	通年

②実行委員会参画事業

○	29	第46回 くにたち音楽祭	共催	6月
○	30	第29回 国立市吹奏楽フェスティバル	共催	9月
○	31	ファミリーフェスティバル（ファンファーレ、春風コンサート、呈茶、エントランスコンサート）	共催	5月
	32	ギャラリーネットワーク連携事業	共催	10月、11月
○	33	わくわく子どもフェスタ	共催	2月

- こどもおすすめ事業
- ☆ 協賛事業
- 新規事業

東京文化会館との共催。東京音楽コンクール1位および日本音楽コンクール1位受賞者によるアンサンブルコンサート。地域住民がクラシック音楽に親しむ機会づくりと、新進演奏家を支援することを目的とします。	1, 143	目標3, 4
若手落語家指導で、江戸情緒や昔の暮らしなどに受け継がれる芸を通して親しみ、話芸の世界を体験する落語講座を開催します。		目標17
くにたち市民オーケストラによる管弦楽の名曲コンサートを、共催事業として行います。共催とし、チケット販売額の10%を当館収入とします。		目標3
①日本の伝統芸能に親しむ機会として、一流芸能家による講座を開講します。 ②国立市南部の谷保天満宮を中心とした芸能を次世代に伝承するために、講座や講演会、舞台実演等を目指します。		目標4
芸小ホールの歩みと、市民との協働を語る書籍を編集発行します。SARTRAS（一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会）への助成申請を行います。		目標16

70席のスタジオで、音楽を身近に親しみやすく体験するコンサートを開催します。様々なジャンルから選択し、幅広い層の鑑賞者開拓を行います。	1, 629	目標3, 4, 8
真打ち昇進を目指す若手落語家の話芸を聴き、若手の成長を応援する定例落語会を引き続き開催します。		目標3, 4
軽音楽枠として設定。北欧で長年活躍してきたジャズヴォーカリスト・ピアニストによるエンタテイメントライブ。市内の団体から協賛金を募ります。		目標3, 4
【入場無料】公益事業として開催します。音楽に加え、多彩な実演芸術を紹介します。		目標3, 4
【入場無料】8月、12月に上記事業を夕方に移して開催します。		目標3, 4
ホール利用の予約が少ない平日に、ホールとコンサートグランドピアノの利用を1時間単位で分かち合う利用体験事業を、利用促進事業として実施します。		目標3, 4

職員が、接遇、企画力、コーディネート力の育成を図る目的で、講座・研修事業へ参加します。	2, 604	目標17
市と共催で行う音楽会や公文協支援員派遣事業による研修、中核的劇場などで行われる研修や交流事業に参加する等、事業連携等の試行事業を行います。		目標17
施設見学の受け入れ、中学生の職業体験の受け入れを行います。助成金交付事業、財団広報誌オアシス等の宣伝業務、(ピエンナーレ彫刻のメンテナンス、)芸術文化情報の発信事業を行います。		目標4, 8

【入場無料】参加団体で実行委員会を組織して運営し、市内で活動する様々な音楽団体による、合同発表公演を開催します。	415	目標3
【入場無料】参加団体で実行委員会を組織して運営し、主に中高の吹奏楽団体による合同発表公演を開催します。		目標3
【入場無料】財団、体育協会の共催によるファミリー向け事業を行う中で、芸術小ホールでは、吹奏楽公演、呈茶などを行います。		目標3
【入場無料】市内で営業している画廊の連絡協議団体が、市民向け公益事業を開催します。		目標3, 4
【一部入場無料】立川子ども劇場くにたち支部などが実行委員会を組織して、子ども向けの様々な事業を行います。		目標3

SDGs 目標3 「すべての人に健康と福祉を」 目標4 「質の高い教育をみんなに、生涯学習の機会を促進」  
 目標8 「働きがいのある人間らしい仕事の提供」 目標10 「だれもが等しく芸術に触れる機会を」  
 目標12 「持続可能な消費と生産のパターンを確保」 目標16 「包摂的な社会を推進」  
 目標17 「公的、官民、市民社会のパートナーシップを推進」

2 郷土に関する文化の伝承と振興事業 (定款第4条第2号)

〔郷土文化事業〕

(1) 郷土の歴史、民俗及び自然環境等に関する資料の収集、保管、調査研究、教育支援のための事業

ア 展示事業

・常設展示

計画事業 通し番号	計		
	事業名	開催形態	実施月
1	くにたち郷土文化館 常設展示	自主	通年
2	ハケと生きもの展示	自主	通年
3	施設及び周辺環境整備事業	自主	通年

・企画展示

○	4	共催企画展 「第9回くにたち陶芸展」(仮)	共催	5~6月 4週間
●	5	秋季企画展 「学舎のまちくにたち」(仮)	自主	10月~12月 6週間
○	6	冬季企画展 「むかしの暮らし」展	自主	1月~3月 8週間

イ 資料収集・調査・研究事業

	7	資料活用及び保存に伴う調査・研究・修復事業	自主	通年
	8	地域資料の整理	自主	通年
	9	収蔵資料の整理	自主	通年
	10	資料のデジタル化事業	自主	通年
	11	図書資料整理	自主	通年
	12	地域資料等の購入・収集及び調査・研究・教育普及事業	自主	通年
	13	調査、研究等の書籍刊行事業	自主	通年

画	予算額 (千円)	SDGs関連
事業内容及び説明		
「多摩川が育んだ段丘とともに生きる私たち」をテーマとして、国立市の歴史、民俗、自然の各分野について学んでもらうことを目的としています。	231	目標4
研究者の協力のもと、ハケや府中用水に生息する生きものについて、生体展示または標本や剥製などの資料を通じて親しんでもらうことを目的としています。自然学習への関心を高める展示を継続します。		目標15 ターゲット5
地球温暖化や省エネについて考えてもらうことを目的としています。来館者、見学者がくつろげる空間づくりを、ハード、ソフト面で行います。		目標13 ターゲット3

様々な陶芸の魅力と、地域活動の成果としての陶芸作品を鑑賞して頂くため、郷土文化館の陶芸窯を利用している6団体が実行委員会を組織し、創作活動の発表の場とする。	1,035	目標17 ターゲット17
明治期の潤沢学舎の開校から、学園都市開発を経て、現在の国立市内公・私立小学校全11校が開校するまでの、国立市内の小学校の歴史について、写真や教育関連資料とともに紹介します。		目標11 ターゲット4
当館所蔵の民具を展示し、昔の暮らしや道具について学習を深めることを目的とし、小学3年生の授業カリキュラムにも対応させる内容とします。		目標4

将来の利用に向けた資料保存と、企画展示を目的として、国立市に関する資料の調査・研究および保全、修復を行います。	2,400	目標11 ターゲット4
新たに寄贈された資料（美術・写真・民具）の整理を行います。		目標11 ターゲット4
歴史資料、民俗資料、図書資料及び新規資料の整理・保存環境整備を行います。また、収蔵庫の資料の再調査を行い収蔵庫の整理、目録化を図ります。		目標11 ターゲット4
館収蔵の紙資料や、市役所広報担当移管写真等のうち、資料的価値が認められ、利用頻度も高い資料群のデジタル化及び、その情報入力促進を図ります。当館所蔵および移管資料に係る聞き取りテープの筆耕を行い、刊行に向けた準備を進めます。		目標11 ターゲット4
資料研究室の資料を、中央図書館とネットワーク化するためのデータベース作業等を行います。		目標11 ターゲット4
他の社会教育機関と連携し、地域資料の収集活動および地域史に関する調査・研究を行います。また資料研究室において書籍の購入等を通じた国立市とその周辺地域の地域史に関連する登録書籍の充実を図り、生涯学習の支援等に資するようにします。		目標11 ターゲット4
年報、研究紀要、収蔵資料の目録など、調査・研究の成果を書籍にまとめて刊行します。		目標11 ターゲット4

ウ 講座事業（教育・学習支援事業）

計画事業 通し番号	計		
	事業名	開催形態	実施月
14	講演会事業	自主	年間3回
15	自然講座「くにたちの自然といきものの関わり」（仮題）	自主	年間1回
16	歴史講座「くにたちの古文書に親しむ」（仮題）	自主	年間2回
● ○	17 地域文化・郷土資料の紹介	自主	通年
○	18 ガイドツアー	自主	随時
	19 学習支援事業	自主	随時

(2) 市民が参加及び体験する事業  
ア 郷土の伝統文化を学ぶ体験事業

	20	小学生民具案内（全11校）	自主	1月～3月
○	21	わら細工教室（2回）	自主	7月・12月
	22	千支の折り紙教室	自主	11月
	23	国立市古民家 展示と公開	自主	通年
○	24	国立市古民家事業・季節の飾り付け	自主	通年
○	25	国立市古民家事業・伝統行事	自主	9月～2月

イ 郷土の自然環境を学び体験する事業

○	26	くにたち自然クラブ（全7回）	準備	6月～12月
○	27	星空ウォッチング（全3回）	自主	12月～2月
○	28	冬のいきもの探し	準備	1～3月

- こどもおすすめ事業
- 新規事業



画	予算額 (千円)	SDGs関連
事業内容及び説明		
企画展示に関連し、より詳細な内容を学ぶ機会として専門家などを招き講演会を行います。また、国立市の歴史・文化を学ぶ機会として、常設展示とも関連するテーマに基づいた講演会を企画します。	429	目標4
くにたちの自然環境について座学とフィールドワークから学ぶ講座を行います。		目標15 ターゲット5
くにたち郷土文化館所蔵の近世資料及び、くにたちの暮らしに関する資料を活用し、2回の講座設定で多面的な学習機会を提供します。		目標4
くにたちに関する歴史・民俗・自然などの情報発信や、当館所蔵資料を紹介するため、当館企画展開催以外の期間や夏休み期間中において、各種展示や講演会、ワークショップ、アウトリーチ活動などを適宜実施します。		目標4
来館者に向けて展示解説や散策ガイドなどを行います。		目標4
小学校出前講座や中学生職場体験・学芸員実習など、学校教育の支援を行ないます。		目標4

市内公私立小学校全11校3年生を対象に、郷土文化館収蔵の民具資料を使い、昔の暮らしぶりを体験する機会とします。	589	目標4
購入もしくは寄贈されたわらを利用して、わらぞうりやしめ縄作りなどの体験教室を行ないます。		目標11 ターゲット4
来年の干支を制作することを通じて、日本の伝統文化である「折り紙」を体験してもらう機会とします。		目標11 ターゲット4
国立市有形民俗文化財・復元民家・旧柳澤家を一般に公開、活用します。		目標4
寄贈を受けた節句飾り等季節に応じた展示（端午の節句、七夕飾り、雛人形飾りなど）を行います。城山さとのいえの来館者も楽しめるよう、共通の飾り付けを行います。		目標11 ターゲット4
古民家を活用して、四季の伝統行事（十五夜団子・まゆ玉飾り・豆まき、ひし餅作り）を行います。		目標11 ターゲット4

小学生を対象に、生き物や自然の観察を通して自然の大切さを学ぶことを目的として、様々な体験を行います。	278	目標15 ターゲット5
専門家による天文学の講演と、大型天体望遠鏡を使って冬の夜空に輝く星座を観察します。		目標4
自然クラブ卒業生を中心に対象とした、ジュニアリーダー育成を目的として動植物など自然の観察法などを学びます		目標15 ターゲット5

SDGs 目標4 「質の高い教育をみんなに、生涯学習の機会促進」  
 目標11ターゲット4 「文化遺産及び自然遺産の保護、保全」  
 目標13ターゲット3 「気候変動に関する教育／啓発」  
 目標15ターゲット5 「生物多様性の保全、絶滅危惧種の保護」  
 目標17ターゲット17 「公的、民間、市民社会のパートナーシップ 活性化」

※SDGs 関連性の項には最も関連性の高いと思われる目標、ターゲットを掲載している

3 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業(定款第4条第3号)  
 [スポーツ・レクリエーション事業]

(1) 健康づくりのスポーツ事業

計画事業 通し番号	計		
	事 業 名	開催形態	実施月
1	やさしいヨガ①～④ (4回 各8日間)	自 主	5月・8月 10月・1月
2	初めての気功と健康太極拳①～⑤ (5回 各8日間)	自 主	4月・6月 9月・11月 1月
3	太極拳24式・48式①～⑤ (5回 各8日間)	自 主	4月・6月 9月・11月 1月
4	水中リズムウォーキング①～④ (4回 各8日間)	自 主	4月・9月 11月・1月
5	骨盤調整&エアロビクス①～④ (4回 各8日間)	自 主	4月・6月 11月・1月
6	楽しいフラダンス①～③ (3回 各6日間)	自 主	4月・9月 12月
7	インターバル速歩	自 主	4月～3月

(2) スポーツ及びレクリエーションの普及事業

8	初心者ゴルフ教室 (1回 12日間)	自 主	4月
9	レベルアップゴルフ①・② (1回 12日間、1回 6日間)	自 主	9月・2月
● 10	国立プロスポーツ観戦DAY	自 主	7月

(3) 親と子どものスポーツ体験事業

○ 11	親子体操教室①～③ (3回 各8日間)	自 主	5月・9月 1月
○ 12	親子野球教室①・② (2回 各1日間)	自 主	10月・3月
○ 13	親子スイミング教室①～③ (3回 各6日間)	自 主	5月・11月 2月

- こどもおすすめ事業  
 ● 新規事業

画	予算額 (千円)	SDGs 関連性
事業内容及び説明		
ヨガの基本的な動作をわかりやすく取り入れ、身体をリラックスし心身のリフレッシュと健康増進を図ります。	5,989	目標3
初心者向けの13勢基本法の太極拳にゆっくりした呼吸法を取り入れ、足腰等を鍛錬し健康増進を図ります。		目標3
中国武術の一派を基に制定された健康運動法として、中国政府が編纂、制定した太極拳を学び健康増進を図ります。		目標3
水中を歩いたりストレッチ・ダンス等を行うことにより、浮力を利用して身体全体を動かし、健康増進を図ります。		目標3
音楽のリズムに合わせた有酸素運動に加えて、骨盤を調整するストレッチを取り入れ、健康な身体づくりと健康増進を図ります。		目標3
音楽に合わせてバランスを取りながら、優雅に全身を動かすことにより健康増進を図ります。		目標3
心肺機能と脚筋力を向上するインターバル速歩の講習会です。毎月第1金曜日に実技を行うほか、随時、座学を開催します。		目標3

ゴルフの基本的な技術指導を行い、ゴルフの楽しさや技術とルールを学びます。	1,667	目標3
ゴルフの応用的な技術指導を行い、ルールを学び、参加者のレベルアップを図ります。		目標3
プロスポーツ選手のプレーをスタジアムで観戦し、スポーツの普及・振興を図ります。		目標3

親子で一緒に運動することにより、楽しみながらコミュニケーションを図り、また親の親睦の場として子育ての一助を目指します。	924	目標3 目標4
野球という最もポピュラーなスポーツを通じて、親子の関係作りを図ります。		目標3 目標4
親子で水に親しみながらコミュニケーションを図り、また親の親睦の場になることを目指します。		目標3 目標4

SDGs 目標3 「すべての人に健康と福祉を」  
目標4 「質の高い教育をみんなに」

(4) 小中学生スポーツ体験事業

計画事業 通し番号	計		
	事業名	開催形態	実施月
○ 14	小・中学生無料開放①～③(夏1回、冬1回、春1回)	自主	7月・1月 ・3月
○ 15	小学生バドミントン教室①、②(2回 各6日間)	自主	4月・9月
○ 16	初心者ミニバスケット教室(1回、2日間)	自主	8月
○ 17	小学生高学年テニス教室(1回、3日間)	自主	8月
○ 18	小学生かけっこ教室(1回、8日間)	自主	5月～7月
○ 19	サッカークリニック	自主	1月
○ 20	小学生夏休み水泳教室	自主	8月

(5) 共催事業

○ 21	第30回ファミリーフェスティバル	共催	5月
22	第33回くにたちウォーキング	共催	10月
23	スポーツ講演会	共催	3月
○ 24	小学生初心者水泳教室	共催	5月～7月

- こどもおすすめ事業  
● 新規事業

画	予算額 (千円)	予算額 (千円)
事業内容及び説明		
学校の休み期間に、子どもたちや親子で卓球、バドミントン、水泳を楽しく体験し、ルールを学び、スポーツの普及を図ります。	1,339	目標3 目標4
バドミントンを基礎から学び、楽しさと親睦を図ります。		目標3 目標4
ミニバスケット対応のゴールを設置し、小学生の初心者を対象に基礎を学び、楽しさと親睦を図ります。		目標3 目標4
小学生の初心者を対象にテニスの基礎から学び、楽しむとともに親睦を図ります。		目標3 目標4
運動の基礎となる走力を身に着けることを目指しています。実施時期についても運動会の前など参加意欲がわくよう工夫します。		目標3 目標4
小学生から中学生を対象に専門の指導員を派遣し、サッカーの基礎や応用を学ぶ場を提供することにより、楽しさと親睦を図ります。		目標3 目標4
小学校で行っていた水泳教室は酷暑中止が多かったことから、会場を総合体育館室内プールに変え財団主催にしました。		目標3 目標4

総合体育館及び周辺にスポーツやゲームのコーナーを設け、子どもを中心に家族で楽しんでもらうイベントを開催します。 (共催：国立市体育協会)	1,229	目標3
市内の名所・見どころ等を巡るコースを選定し、完歩賞を発行するなど、誰でも自由に参加できるウォーキングを行います。 (共催：国立市体育協会)		目標3
スポーツに携わった関係者等による講演会を開催し、スポーツの普及を図ります。 (共催：国立市体育協会)		目標3
全8回の水泳教室です。低学年、高学年の2コースを設け、泳ぎを学び、水泳の楽しさと親睦を図ります。 (共催：国立市)		目標3 目標4

SDGs 目標3 「すべての人に健康と福祉を」  
目標4 「質の高い教育をみんなに」



2023年度

収支予算書

公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団

2023年度収支予算書 (損益計算ベース)  
2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計			法人会計			合 計		
	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	本年度予算額	前年度予算額	比較増減
1 一般正味財産増減の部												
1. 経常増減の部												
(1) 経常収益												
基本財産運用益	432	201	231							432	201	231
基本財産利息	432	201	231							432	201	231
特定資産運用益	0	1	△ 1							0	1	△ 1
特定資産利息	0	1	△ 1							0	1	△ 1
事業収益	360,813	328,943	31,870	11,545	11,545	0	15,200	15,200	0	387,558	355,688	31,870
自主・共催事業収益	16,659	17,793	△ 1,134							16,659	17,793	△ 1,134
国上市指定管理料収益	264,525	231,030	33,495	7,470	7,470	0	15,200	15,200	0	287,195	253,700	33,495
国上市受託料収益	7,145	7,636	△ 491		0	0				7,145	7,636	△ 491
利用料収益	71,794	71,794	0	2,170	2,170	0				73,964	73,964	0
広告料収益	690	690	0			0				690	690	0
付帯サービス事業収益			0	1,905	1,905	0				1,905	1,905	0
受取補助金等	63,927	59,492	4,435				10,898	10,898	0	74,825	70,390	4,435
国上市補助金	55,765	54,190	1,575				10,898	10,898	0	66,663	65,088	1,575
民間等助成金	55	55	0							55	55	0
国等助成金	8,107	5,247	2,860							8,107	5,247	2,860
受取寄付金等	30	30	0							30	30	0
受取寄付金振替額	30	30	0							30	30	0
雑収益	72	37	35	50	50	0				122	87	35
受取利息	2	2	0							2	2	0
行政資料等販売収益			0	50	50	0				50	50	0
雑収益	70	35	35							70	35	35
経常収益計	425,274	388,704	36,570	11,595	11,595	0	26,098	26,098	0	462,967	426,397	36,570
(2) 経常費用												
事業費	425,274	388,704	36,570	11,595	11,595	0				436,869	400,299	36,570
報 酬	40,626	42,834	△ 2,208	1,679	1,679	0				42,305	44,513	△ 2,208
給料手当	49,247	48,691	556	490	490	0				49,737	49,181	556
法定福利費	10,431	9,937	494	110	110	0				10,541	10,047	494
中退共掛金	1,575		1,575			0				1,575	0	1,575
臨時雇賃金	2,650	2,832	△ 182			0				2,650	2,832	△ 182
福利厚生費	592	632	△ 40			0				592	632	△ 40
旅費交通費	2,995	452	2,543			0				2,995	452	2,543
会議費	170	224	△ 54			0				170	224	△ 54
通信運搬費	3,150	3,248	△ 98	0	0	0				3,150	3,248	△ 98
消耗品費	9,942	11,276	△ 1,334	992	992	0				10,934	12,268	△ 1,334
印刷製本費	4,461	4,993	△ 532			0				4,461	4,993	△ 532
修繕費	17,479	16,462	1,017	330	330	0				17,809	16,792	1,017
光熱水費	71,058	37,448	33,610	1,470	1,470	0				72,528	38,918	33,610
燃料費	300	300	0			0				300	300	0
賃借料	9,725	8,705	1,020	180	180	0				9,905	8,885	1,020
保険料	1,203	987	216			0				1,203	987	216
請謝金	6,345	8,681	△ 2,336			0				6,345	8,681	△ 2,336
手数料	2,274	2,078	196	776	776	0				3,050	2,854	196
租税公課	7,717	7,709	8	155	155	0				7,872	7,864	8
広告宣伝費	230	381	△ 151			0				230	381	△ 151
支払助成金	1,600	1,600	0			0				1,600	1,600	0
委託費	171,345	168,777	2,568	5,413	5,413	0				176,758	174,190	2,568
支払負担金	1,191	1,196	△ 5			0				1,191	1,196	△ 5
ソフトウェア関連費	3,625	3,345	280							3,625	3,345	280
雑費	100	100	0							100	100	0
減価償却費	5,243	5,816	△ 573			0				5,243	5,816	△ 573



(単位:千円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計			法人会計			合 計		
	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	本年度予算額	前年度予算額	比較増減
管理費							26,028	26,028	0	26,028	26,028	0
役員報酬							5,170	4,766	404	5,170	4,766	404
給料手当							13,062	13,098	△ 36	13,062	13,098	△ 36
法定福利費							3,008	3,550	△ 542	3,008	3,550	△ 542
臨時雇賃金							46	45	1	46	45	1
福利厚生費							64	83	△ 19	64	83	△ 19
旅費交通費							47	11	36	47	11	36
会議費							50	50	0	50	50	0
通信運搬費							135	135	0	135	135	0
消耗品費							219	63	156	219	63	156
印刷製本費							90	90	0	90	90	0
修繕費							30	30	0	30	30	0
光熱水費							420	420	0	420	420	0
燃料費									0			0
賃借料							918	918	0	918	918	0
諸謝金							338	338	0	338	338	0
手数料							40	40	0	40	40	0
租税公課							322	322	0	322	322	0
助成金									0			0
委託費							224	224	0	224	224	0
支払負担金							224	224	0	224	224	0
ソフトウェア関連費							1,616	1,616	0	1,616	1,616	0
雑費							5	5	0	5	5	0
経常費用計	425,274	388,704	36,570	11,595	11,595	0	26,028	26,028	0	462,897	426,327	36,570
調整前当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	70	70	0	70	70	0
評価損益等			0		0							0
当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	70	70	0	70	70	0
2. 経常外増減の部												
(1) 経常外収益												
経常外収益計												
(2) 経常外費用												
経常外費用計												
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法人税等							70	70	0	70	70	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産期首残高	0		0	2,032	2,032	0	9,500	9,500	0	11,532	11,532	0
一般正味財産期末残高	0	0	0	2,032	2,032	0	9,500	9,500	0	11,532	11,532	0
II 指定正味財産増減の部												
一般正味財産への振替額	0	0	0				0	0		0	0	0
受取市補助金	0	0	0				0	0		0	0	0
受取寄付金	0	0	0				0	0		0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	312,545	312,545	0	0	0	0	0	0	0	312,545	312,545	0
指定正味財産期末残高	312,545	312,545	0	0	0	0	0	0	0	312,545	312,545	0
III 正味財産期末残高	312,545	312,545	0	2,032	2,032	0	9,500	9,500	0	324,077	324,077	0

資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類

(2023年4月1日～2024年3月31日)

1) 資金調達の見込みについて

2023年度中に借入れの予定はありません。

2) 設備投資の見込みについて

2023年度中は新たな設備投資の見込みはありません。

2 0 2 3 年 度

収 支 予 算 内 訳 書

2023年度収支予算内訳書 (損益計算ベース)  
2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	公益事業等会計					収益事業等会計				法人会計	内部取引 控 除	合 計
	芸術文化事業	郷土文化事業	スポーツレクリエーション事業	共通	小計	付帯サービス事業	施設管理運営事業	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部												
1. 経常増減の部												
(1) 経常収益												
基本財産運用益	0	0	432	0	432	0	0	0	0	0	0	432
基本財産利息			432		432			0	0	0		432
特定資産運用益												0
特定資産利息												0
事業収益	87,434	57,366	216,013	0	360,813	1,905	9,640	0	11,545	15,200	0	387,558
自主・共催事業収益	4,521	1,033	11,105		16,659				0			16,659
国上市指定管理料収益	63,483	52,791	148,251		264,525		7,470		7,470	15,200		287,195
国上市受託料収益	0	2,000	5,145		7,145				0			7,145
利用料収益	19,140	1,342	51,312		71,794		2,170		2,170			73,964
広告料収益	290	200	200		690				0			690
付帯サービス事業収益					0	1,905			1,905			1,905
受取補助金等	29,775	24,239	9,913	0	63,927	0	0	0	0	10,898	0	74,825
国上市補助金	21,613	24,239	9,913		55,765				0	10,898		66,663
国等助成金	8,107				8,107							8,107
民間等助成金	55				55							55
受取寄付金等	30	0	0	0	30	0	0	0	0	0	0	30
受取寄付金振替額	30	0	0		30				0			30
雑収益	37	35	0	0	72	0	50	0	50	0	0	122
受取利息					0				0	0		0
行政資料等販売収益					0		50		50			50
雑収益	37	35			72		0		0	0		72
経常収益計	117,276	81,640	226,358	0	425,274	1,905	9,690	0	11,595	26,098	0	462,967
(2) 経常費用												
事業費	117,276	81,640	226,358	0	425,274	1,905	9,690	0	11,595		0	436,869
報 酬	17,573	8,267	14,786		40,626	375	1,304		1,679			42,305
給料手当	11,022	21,805	16,420		49,247	0	490		490			49,737
法定福利費	3,088	4,240	3,103		10,431	0	110		110			10,541
中退共掛金	315	945	315		1,575	0	0		0			1,575
臨時雇賃金	509	2,000	141		2,650	0	0		0			2,650
福利厚生費	195	179	218		592	0	0		0			592
旅費交通費	2,363	414	218		2,995	0	0		0			2,995
会議費	100	60	10		170	0	0		0			170
通信運搬費	1,322	1,048	780		3,150		0		0			3,150
消耗品費	1,875	2,067	6,000		9,942	630	362		992			10,934
印刷製本費	1,944	1,666	851		4,461	0			0			4,461
修繕費	1,870	1,900	13,709		17,479	0	330		330			17,809
光熱水費	13,673	7,800	49,585		71,058	0	1,470		1,470			72,528
燃料費		100	200		300	0	0		0			300
賃借料	4,191	828	4,706		9,725	0	180		180			9,905
保険料	255	128	820		1,203	0	0		0			1,203
諸謝金	3,856	243	2,246		6,345	0	0		0			6,345
手数料	1,421	383	470		2,274	700	76		776			3,050
租税公課	2,054	1,659	4,004		7,717	50	105		155			7,872
広告宣伝費	230	0	0		230	0	0		0			230
支払助成金	530	530	540		1,600	0	0		0			1,600
委託費	47,054	21,978	102,313		171,345	150	5,263		5,413			176,758
支払負担金	201	40	950		1,191	0	0		0			1,191

ソフトウェア関連費	1,635	700	1,290		3,625							
雑費		100			100							
減価償却費		2,560	2,683		5,243	0	0		0			5,243

(単位:千円)

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計				法人会計	内部取引 控 除	合計
	芸術文化事業	郷土文化事業	スポーツレクリ エーション事業	共通	小計	付帯サービス 事業	施設管理 運営事業	共通	小計			
管理費										26,028	0	26,028
役員報酬										5,170		5,170
給料手当										13,062		13,062
法定福利費										3,008		3,008
臨時雇賃金										46		46
福利厚生費										64		64
旅費交通費										47		47
会議費										50		50
通信運搬費										135		135
消耗品費										219		219
印刷製本費										90		90
修繕費										30		30
光熱水費										420		420
燃料費												0
賃借料										918		918
諸謝金										338		338
手数料										40		40
租税公課										322		322
助成金												0
委託費										224		224
支払負担金										224		224
ソフトウェア関連費										1,616		1,616
雑費										5		5
経常費用計	117,276	81,640	226,358	0	425,274	1,905	9,690	0	11,595	26,028	0	462,897
調整前当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70	0	70
評価損益等					0				0			0
当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70	0	70
2. 経常外増減の部												
(1) 経常外収益												
経常外収益計												
(2) 経常外費用												
経常外費用計												
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法人税等										70		70
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産期首残高					0	2,032			2,032	9,500		11,532
一般正味財産期末残高	0	0	0	0	0	2,032	0	0	2,032	9,500	0	11,532
II 指定正味財産増減の部												
一般正味財産への振替額									0			
受取寄付金					0							0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	110,295	92,250	110,000		312,545				0	0		312,545
指定正味財産期末残高	110,295	92,250	110,000		312,545	0	0	0	0	0	0	312,545
III 正味財産期末残高	110,295	92,250	110,000	0	312,545	2,032	0	0	2,032	9,500	0	324,077

